Shibaura Institute of Technology

校友会だより

2021 June Vol.26

創立100周年に向けて

校友会ホームページはこちら
http://www.shibaura-koyu.jp/

完成予定図
2022年3月竣工予定

豊洲キャンパス（2021年4月12日撮影）
完工率31.38%（2021年3月31日現在）

芝浦工業大学校友会の概要と活動について

全国の卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
2020 年度は、新型コロナウィルス感染拡大により、校友会主催のイベントの中止や各種会議が対面ではなくリモート開催となりました。各支部におきましても多くの支部総会が書面やリモートによる開催となり、中止を余儀なくされる支部も多くありました。
2021 年度全国総会（定期総会）も既にご案内させて頂いた通り、昨年同様書面での開催に決定いたしました。全国総会懇親会については中止とさせていただきました。
芝浦工業大学校友会は昭和 3 年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、現在は海外 5 支部（台湾・シンガポール・上海・タイ王国・韓国）と北海道から沖縄にお住まいの会員で構成されている 48 の地域支部、官公庁や一般企業などに在職・退職された会員で構成している職域（企業）支部が 25 支部、学科・研究室・スポーツ等の共通するグループの会員で構成されている同好会支部が 21 支部、合わせて 94 支部が活動しています。
校友会の目的は、会員相互の交流と親睦を深め、社会貢献に寄与する活動の支援を目的としています。
また、母校在学生への支援・教育事業を援助し、母校の発展に寄与する活動を行なっています。
現状は支部と本部が連携して下記のような活動を行っています。

1．在校生の就職支援活動
2．在校生の研究・実習活動への協力・卒業生による「実学サロン」の開催
3．在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
4．新卒業生への記念品贈呈
5．母校開催の賀詞交歓会への協賛
6．母校記念事業への協力
7．箱根駅伝予選会出場への支援活動
8．母校開催父母懇談会への参加協力と後援会との交流を図る
9．校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
10．校友会支部への連携強化と活動支援を図る
11．「経営者懇談会」開催による芝浦工業大学校友会の強化を図る
12．全国卒業生名簿の追補版発行
13．資格習得講座の提供
14．校友倶楽部の活用

本年度も各事業活動での協賛・支援などを含め、様々な活動を行なってまいります。
芝浦工業大学校友会は、在校生、後援会ならびに教職員との連携を密にし、芝浦工業大学の社会的基盤を更に強固にするための活動をしてまいります。
最後に今年度の校友会活動にご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目　次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について
役員挨拶 …… 1
会長 …… 1
総務広報委員長 …… 2
財務委員会 …… 2
事業委員会 …… 3
組織委員長 …… 3
例規委員会 …… 4
特別委員会 …… 4
役員紹介 …… 5
常任幹事会議長紹介 …… 6
理事長挨拶 …… 7
学長挨拶 …… 8
shiba-jo プラチナネットワークご紹介 …… 12
校友会活動 …… 14
各界で活躍する校友の皆様 …… 21
支部活動報告 …… 24
“支部旗”全国にひるがえる …… 57
校友会「会員名簿」について …… 57
芝浦工業大学校歌 CD の販売 …… 57
常任幹事会、相談役・顧問名簿 …… 58
支部及び支部長紹介 …… 61
校友倶楽部利用のお願い …… 62
公開講座のお知らせ …… 63
本の宅配貸出サービス …… 64
資格取得講座のご案内 …… 66
校友会本部事務局紹介 …… 67
大学オリジナルグッズのご紹介 …… 67
在校生就職支援ご協力のお願い …… 68
編集者・協力者紹介 …… 68
広　告 …… 69

会　長　挨　拶

芝浦工業大学 校友会
会　長
加 藤　善次郎

機械工学科　昭和 55 年卒

校友会会員の皆様、ご家族の皆様、如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症が未だ終息の気配が見えない中、お元気にお過ごしの事とご推察申し上げます。

さて、私は昨年７月、鈴見健夫前校友会長（現理事長）の後を引き継ぐ形で、校友会長に就任しました。皆様もご存知の通り、一昨年、令和元年 12 月 10 日に前五十嵐久也理事長が、思いも寄らないことでしたが急逝され、昨年令和２年２月 19 日に鈴見健夫前校友会長が理事長に就任されました。五十嵐校友会長時代、鈴見校友会長時代ともに副会長として両会長に仕えてきました。両先輩の校友会に対する意思を継承し、いまだ未熟者ですが、皆様の力をお借りして、微力ながら校友会の発展に全力を尽くす所存です。

校友会は昨年、新型コロナウイルス感染症の感染防止を第一に、大学の感染症防止対策と行動を一にする形で校友会全国総会並びに幹事会については書面開催とさせて頂きました。今年の全国総会、幹事会も新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、会員の皆様の安全、安心を第一に書面開催を決断致しました。同窓との再会を心待ちにしていた諸先輩方には、大変申し訳ないことですが、断腸の思いで決断をさせて頂きました。

また、昨年の総会では、大学の“コロナによる退学者を１人も出さない”を合言葉に学生の経済的支援～コロナ対策学生支援プロジェクト募金～にご協力を賜り、校友会の蓄財から１億円を寄付することを議決頂き、心より御礼申し上げます。その後、校友会員、職員、後援会員などから約９千万円が寄付され、芝浦工業大学では新型コロナウイルス感染症による退学者を一人も出していない状況です。皆様のご協力に対して改めて感謝申し上げます。

校友会には、総務、事業、財務、例規、組織、特別、就職支援の７委員会が設置され、各委員会は、副会長が委員長として企画、立案、運営を行っています。その中、就職支援委員会は、会長の私が委員長を兼務しております。就職支援委員会では、大学とともに 100％の就職率の達成を目指して、学生の就職支援に協力をしています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で企業は採用を手控える中、芝浦工業大学では、昨年度と同等の就職率を達成できました。そして多くの卒業生は企業への就職が叶いました。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後もご協力をお願い申し上げます。

最後に校友会員の皆様、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
吉 池　富士夫

金属工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴
平成29年　副会長（財務委員長）・大学評議員
令和２年　副会長（総務広報委員長）・大学評議員

経　　歴
平成25年　㈱LIXIL　専務執行役員
平成28年　飯田グループホールディングス㈱　執行役員
令和２年　㈱吉池事務所　代表取締役

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

一方、新型コロナウイルス感染拡大により、健康被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

今回のコロナ禍における人々の生活様式は非日常化し、今日に至っていまだ終息のゴールが見えません。ワクチンも安心安全とまでは言えない情報や変異ウイルスの発生など、様々な予期せぬ変化が日々発生しています。そのような状況におきましても、校友会活動に変わらぬ御尽力・御協力を賜りますこと、まずもって厚く御礼申し上げます。

理系の卒業生が集うわが校友会は、支部の皆さんも素早くオンラインでデバイス対応いただいている状況は当然ですが嬉しい限りです。とは言え、なかなか対面での全国総会などが開催できない日常はストレスが溜まります。一日も早く元の日常を取り戻せることを祈念いたします。

しかしながら、いかなる変化にも対応できる体質の芝浦工大卒業生としては、今までの活動に加えて新たな一歩を創り出す必要がありそうです。

総務広報委員会におきましても、いち早く本部事務局が中心となりオンライン会議システムを導入し各種会議を開催できるように実施してまいりました。

加えて事務局員のテレワークや時差出勤も早期導入し事務処理の遅れなく局員の健康安全確保にも努めております。

また好評をいただいております実学サロンの今期は初のオンライン開催も検討してまいります。これにより世界の校友会の皆様と輪がつながることが可能になります。

このほかにもコロナ禍から生まれた良案がでるよう進めていきたいと思っております。

なにとぞ引続き　皆様のご指導ご鞭撻をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

副会長・財務委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
福 井　幸 博

電気工学科
昭和 55 年 卒業
地域環境システム専攻
平成 23 年 博士課程修了

校友会歴
平成27年９月～　常任幹事
令和元年７月～　富山支部長　現在に至る

経　　歴
平成25年8月　文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム・プロジェクトディレクター
平成30年4月　（一財）北陸産業活性化センター特別参与　現在に至る

卒業生の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、財務委員会の主なミッションは、校友会活動の年度予算編成及び実績管理です。予算編成は、その時々に校友会が直面する課題と、それらを克服するための処方箋が凝縮された政策の集合体と考えています。やりたいことを予算に載せればいいわけではありません。予算の選択と集中、優先度の高いものへ重点配分します。具体的には、各委員会の予算要求を基に原案を作成し、執行役員会の審議の後に、常任幹事会の承認を受け、全国総会で確定します。一方実績管理は、予算の確定後、予算が適切に執行されているか、実態を調査・検証し、予算執行の結果である決算も次の予算編成に反映していきます。具体的にはプロの公認会計士の力を借り、予算に照らし合わせながら収支の管理と確認を行い、予算編成と同様に執行役員会の審議、常任幹事会の承認後、全国総会で報告します。

昨年からの新型コロナウィルス（COVID-19）の感染拡大、急速な少子高齢化、東京一極集中・地方消滅、世界一となった寿命等々の様々な課題からの影響を考慮するとともに、2027 年に迎える大学創立 100 周年、さらにその後の校友会を考えながら、校友会会員一人一人の思いを予算に刻み込んでいきたいと考えています。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

副会長・事業委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
釜 井　重 一

建築学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴
平成23年　常任幹事就任
平成29年　副会長（事業委員長）就任（2期目）

経　　歴
平成30年　三井住友建設㈱ 定年退職
平成30年　釜井建設マネジメント㈱　代表取締役就任

校友の皆様、校友会の活動にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。この場をお借り致しまして、心より御礼申し上げます。

事業委員会の活動内容の概略を、下記に記載致しました。まず今年、2021 年の新年賀詞交歓会は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により中止とさせて頂きました。また今年の全国総会・懇親会も、去年 12 月の常任幹事会にて審議され、中止となりました。2022 年には両会合とも無事に開催する事が出来て、校友の皆様と笑顔で会えますよう心より願っています。

2022 年 1 月 28 日（金）新年賀詞交歓会（予定）、2022 年 6 月 11 日（土）全国総会・懇親会が次回開催の予定となります。

校友倶楽部も、現在（3 月中旬）のところ利用可能な日時が、はっきり致しません。大学のホームページ等で確認をお願い致します。ワクチンの接種状況からしますと、2021 年いっぱいはウイズコロナの世の中が継続するものと思われます。東日本大震災から丸 10 年が経ちましたが、復興も普段の生活も道半ばで、何か晴れ晴れと出来ない気持ちがあります。校友の皆様におかれましてはご自愛なされて、この困難な時代を力強く歩んで頂き、芝浦工業大学、在校生、校友会の前途を暖かく見守って頂きたいと思います。

副会長・組織委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
飯 島　敏 春

機械工学科
昭和 54 年 卒業

校友会歴
平成26年　常任幹事・監査役
令和 2 年　副会長・組織委員長

経　　歴
平成28年　日本通運㈱　参　与
平成29年　日通商事㈱　人事部　調査役　現在に至る

校友会の皆様におかれましては、コロナ禍にありましても、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は組織委員会の活動にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて組織委員会の主な活動は、下記の示すとおりですが、若手会員や女性会員の加入推進並びに新規支部の開拓が重要な課題です。コロナ禍の中、支部総会に参加することもできず、本部支部間の連携強化もままなりません。しかし、今後は zoom 会議等を利用して、本部と支部の情報の共有や、後援会との連携強化を推進し、校友会組織の活性化・拡充を図りたいと存じます。

昨年は、弓道部 OB 会支部とサッカー部 OB 会支部の支部創立があり、支部数は 94 支部となりました。更なる新規支部の開拓に努めたいと存じます。

校友の皆様におかれましては、大学創立 100 周年に向けて、校友会と芝浦工業大学の益々の発展とグローバル化、ブランド力向上のため、なお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。一日も早く新型コロナ感染症の終息と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

組織委員会　活動内容

- 若手会員及び女性会員の加入促進
- 本部と支部との連携強化及び情報の共有化
- 新規支部の開拓を推進
- 後援会との交流推進（全国父母懇談会等）
- 海外支部活動の活性化
- 校友会会員名簿（追補版）発刊の打合せ
- 新規事業内容の検討

副会長・例規委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
長谷川　健 嗣

機械工学科
昭和 57 年 卒業

校友会歴
平成26年　常任幹事就任
平成29年　常任幹事会議長就任
令和２年　常任幹事　副会長就任

経　　歴
昭和57年　株式会社吉田製作所　入社
平成29年　株式会社吉田製作所　取締役　生産本部本部長

卒業生の皆様におかれましては、コロナ禍の中如何お過ごしでしょうか。

さて、昨年７月 10 日に副会長に選出され例規委員会委員長を拝命いたしました長谷川健嗣（ハセガワタケシ）でございます。

就任後はや８箇月が過ぎましたが、委員会も Web 開催となり３回の開催をいたしました。

Web 会議になれている方も多い委員会ではありますが、やはり、相対して議論をすることに比べ理解に時間を要することを実感いたしました。しかし、３回の会議ではありますが意思疎通がしっかり図れるようになったことは収穫でありました。

活動内容としては従前どおり「校友会例規集」の理解と見直しと解しておりますが、前年度、前委員長および委員各位のご尽力、並びに、常任幹事会の皆様のお陰を持ちまして『規則の一部改正を含む「校友会例規集」冊子の編集』が完了しております。

この後は、執行役員会ならびに各委員会から「規則の改正」が起案されましたら粛々と対応して参りたいと存じます。

最後になりましたが、コロナの収束がなかなか見通せない中 令和３年度がスタートしようとしております。当該年度の主な行事は書面または Web で開催が決まっております。

会員各位におかれましては、くれぐれも健康に留意しお身体をご自愛下さるようお願い申し上げ、皆様と元気に再会できます日を待ちたいと存じます。

副会長・特別委員会委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
新 井　剛

金属工学科
平成７年 卒業
金属工学専攻
平成９年 修士課程修了
地球環境システム専攻
平成 15 年 博士課程修了

校友会歴
平成29年　選挙管理委員長
令和２年　特別委員会委員長　現在に至る

経　　歴
平成19年～平成20年　独立行政法人　日本原子力研究開発機構　特定課題推進員
平成29年　芝浦工業大学　工学部　材料工学科　教授　現在に至る

私は、高校、大学、大学院（修士・博士）、そして教員として人生の半分を芝浦工業大学と共に歩んできております。教員となってからは積極的に校友会活動にも参加させて頂いており、事業委員会、特別委員会、選挙管理委員会等、卒業生として多くの企画・運営に携わらせて頂いております。芝浦工業大学が 2027 年に 100 周年を迎え、今後さらにこの発展を加速させていくためには、校友会、大学、後援会の三位一体の連携は必要不可欠であると考えております。

私は現職の本学の教員である強みを活かし、校友会と本学、後援会との橋渡し役として、積極的に活動していく所存です。また、このコロナ禍において大学の教育・研究体系は、これまでにない大きな変革期を迎えております。ポストコロナにおいても本学が“強い大学”として持続的発展を遂げるためには、本学学生に新たな教育・研究体系に基づいた英知を与えて社会に送り出すことが必要不可欠であります。そのためには、校友会の皆様方の経験や知識の支援は必須であり、本学教員である副会長として積極的に現役世代との連携を図っていきたいと考えております。

また、特別委員会委員長として本学 100 周年に箱根駅伝本戦への出場を筆頭に学生の課外活動並びに正課への支援を推進したいと考えております。これらの所信を基に『新たな世代の融合による開かれた校友会の構築』を目指し、校友会の益々の発展に貢献していく所存です。

監査役ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
監査役
小川　達生

通信工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴
平成26年　本部常任幹事　就任
平成29年　本部監査役　就任　現在に至る

経　　歴
平成21年　㈱日新コンピュータシステム　代表取締役　就任
平成29年　㈱日新コンピュータシステム　取締役会長　就任
現在に至る

本部監査役に就任して４年になろうとしています。「在校生を 100％就職させる」をモットーに活動を行ってまいりました。昨年までは、学生優位の就職状況でしたが、今年は業種によっては買い手市場になると思われます。中小企業でも堅実な経営をされ好成績を残している企業もあります。そのような企業に今年は積極的に就職のあっせんを行いたいと思います。在校生が中小企業に目を向けるよう各地で行われる当校の父母懇談会等において、中小企業の魅力を父母・在校生に向け中小企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生に中小企業の魅力を語らせたいと思います。大企業志向、公務員になりたい等の理由で就職ができなかったということにならないよう活動を行っていきたいと思います。

監査役としては、定期的に監査役委員会を開催します。執行役員会、各種委員会、常任幹事会、イベント等に出席し、規程に則り委員会活動、本部の活動等が行われているかを監査し問題がある場合、議事録に記述し執行役員会にて報告をしています。半期ごとには、会計監査を行ない、年度末には資産の棚卸し、次年度予算の監査も行っております。

今後、校友会会員を増やすため自身と関係した地方の校友会活動に積極的に参加し活性化を図り、より良い校友会になるよう努力してまいります。

芝浦工業大学 校友会
監査役
小貫　諭

工業化学科
昭和 50 年 卒業
工業化学専攻
昭和 52 年 修士課程修了

校友会歴
平成25年　群馬支部長　　就任
令和２年　監査役　　就任　現在に至る

経　　歴
昭和61年　群馬セラミックス㈱代表取締役　就任
平成29年　群馬セラミックス㈱取締役会長　就任
現在に至る

監査役を拝命し、まだ、一年にも満たないのですが、諸先輩方の助言をいただきながら、私なりに、校友会の発展に寄与し、監査役としての職務を全うしようと努力いたしております。しかし、Covid-19という風が吹きはじめ、会議はリモート、酒も酌み交わす機会もないままに、時間ばかりが、過ぎようとしています。

監査役として、芝浦工業大学が、法的に健全、かつ大きな発展を遂げることを目的に、自分の生き方、世に残せた実績を校友会活動にうまく合致させ、校友会の皆さんのために大きく貢献してゆく所存であります。

その中で、今の世界で生きてゆくためには、芝浦工業大学が目指す、グローバル化が最も重要な課題であろうと思います。日本が独り勝ちしていた時代は、日本ブランドが世界を謳歌し、メイドインジャパンが最大のパスポートでした。しかし、もはや、今、世界は変わりました。国ではなく、人、およびその集団の個性が、世界のブランドになっています。それが世界を動かしている時代になりました。こうした社会においては、世界中の人々と、情報、能力を共有していくことが不可欠です。勝ち抜くためには、少なくとも何か特異なスキルを持つことが武器となっていきます。芝浦工業大学の諸先輩方は、この世界の達人であり、かつ、この達人たちと校友会活動を通し、強い大きな芝浦工業大学の礎を作ることを目的として努力邁進して行くつもりであります。

監査役ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
監査役
作山　康

建築工学科
昭和 58 年 卒業

校友会歴
平成29年　常任幹事
令和 2 年　監査役

経　　歴
昭和58年　株式会社都市環境研究所（研究員・主任研究員・執行役員）
平成23年　芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科（教授）

東日本大震災があった 2011 年に民間都市計画コンサルタント会社から母校の芝浦工業大学へ転職することとなり、それまで培った技術やノウハウを後輩たちに伝え育てることに毎日喜びを感じております。30 代くらいまでは自分を鍛えることで精一杯でしたが、40 代になると母校の先輩たちとの縁ができて仕事で大変お世話になり、OBOG のネットワークの有り難みを感じて大学に来てからは校友会の発展にお役に立てたいと思った次第です。

2020 年度からは監査役として事業の適正化や予算の執行等を監査するとともに、監査役として校友会活動の企画運営に直接関われることで、特に学生にとって認知度の低い校友会と現役学生及び若手卒業生との交流を活性化していきたいと考えています。本学における芝浦工業大学卒業の教員が 1 割を切っていることも影響しているのか、校友会関連行事に参画する教員もまた、少なくなっていると感じています。大学理事会や学事の運営も卒業生を中心に新たな組織で、これまでとはまた違う色合いで芝浦工業大学の発展が期待され、校友会も本学と連携しながら卒業生のネットワークのパワーを感じでもらえるよう、校友会会員の皆さんとともに向上していきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

常任幹事会議長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
常任幹事会議長
林田　和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴
副会長（5期）
常任幹事会議長

経　　歴
一級建築士事務所 創造社勤務（在籍21年間）一級建築士
東京都港区議会議員（5期2年）

鈴見理事長のご指導のもと、校友会も新体制で出発して 2 年目を向かえます。加藤会長を中心に役員も刷新され、新たな挑戦 2 年目を向かえます。しかし、世界的なコロナウイルス感染症の発症で校友会活動もテレワークが中心となり、様々な制約を受けています。こうした状況下で教職員の皆様のこれまでのご苦労に対し衷心より感謝申し上げると共に、不自由な学生生活を強いられている学生諸君へ「最大のエール」をお送りしたいと思います。

芝浦工業大学は創立 100 周年を目指し出発をしております。芝浦工業大学卒業生は、こうした困難な時代だからこそ、先輩後輩を大切にしながら「同窓の絆」も堅固に前進して参りましょう。また混迷する時代だからこそ、立場の違いに関わらず誰からも信頼される誇りある行動が求められます。芝浦工業大学卒業生は、不確実な社会環境の中で、「なくてはならない人」と言われる人格を磨いて参りましょう。

本年は新たな役員・常任幹事が本格的に活動を開始する重要な一年だと考えます。若手の登用と経験豊かな諸先輩の団結で、海外支部・国内の地域支部並びに職域・同好支部の充実を目指し会員増加を目指して参ろうではありませんか。

校友会の前進があって「母校・芝浦工業大学の更なる発展がある」、そうした気概で私も前進することを決意しご挨拶と致します。

理事長挨拶

学校法人芝浦工業大学
理事長
鈴見　健夫

全国の卒業生ご家族の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年来、感染拡大の猛威を振るう新型コロナウイルスにおける本学の対応において、前期はオンライン授業、後期からは対面授業とオンライン授業のハイブリッド学修を導入し、学生に不利益が生じないよう万全な対策を講じました。また、今年は関係者のご尽力により、学位記授与式および入学式を無事挙行することができました。今年度もコロナ対策をはじめ、リスクマネージメント体制の整備ならびに安全かつ充実した教育環境の提供に努める所存です。

さて、本学はその源流である東京高等工商学校の創立以来、今年で 94 年目を迎えます。卒業生の数は 10 万人を超え、その 1 人 1 人の弛まぬ努力の積み重ねによって現在の本学の伝統とブランド力が築かれております。今年の一般入試における志願者数は、新型コロナウイルス感染拡大による外的要因もありましたが、昨年比では微減に留めることができました。また、学生の就職活動においても、企業及び学生にとって前例のない手探り状態での採用・求職活動を展開せざるを得ない特別な年となりましたが、個別指導等をいち早くオンラインに切り替える等、従前と変わらぬ支援体制を堅持しました。年度末からはキャリアサポート部門と校友会就職支援委員会が一体となって支援を進め、内定率 97%（4 月 30 日現在）となり、昨年同等の実績を残すことができました。今後とも卒業生の皆様のご支援方、よろしくお願いいたします。

創立 100 周年事業である「駅伝プロジェクト」では、今年 3 期生 12 名を迎え、着実に実力を伸ばしているところです。お正月の箱根駅伝本戦では、デザイン工学科 2 年の松川雅虎さんが関東学生連合選抜チームの第 10 区を疾走しました。松川さんは、関東学生連合チームの同区間記録を更新し、区間 6 位と貢献しました。卒業生からは“TV 応援をした”旨のメッセージを沢山いただきました。校友会の皆様は、引き続きご支援をお願い申し上げます。

卒業生の活躍は様々なかたちで大学に還元され、大学のブランド力の向上は現役学生や校友の誇りと力となります。これからも「オール芝浦」で大学の発展の一助となって頂けますようお願い申し上げます。

結びに、卒業生ならびにご家族の皆様のご繁栄とご健勝を心から祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

学　長　挨　拶

芝浦工業大学
学　長
山田　純

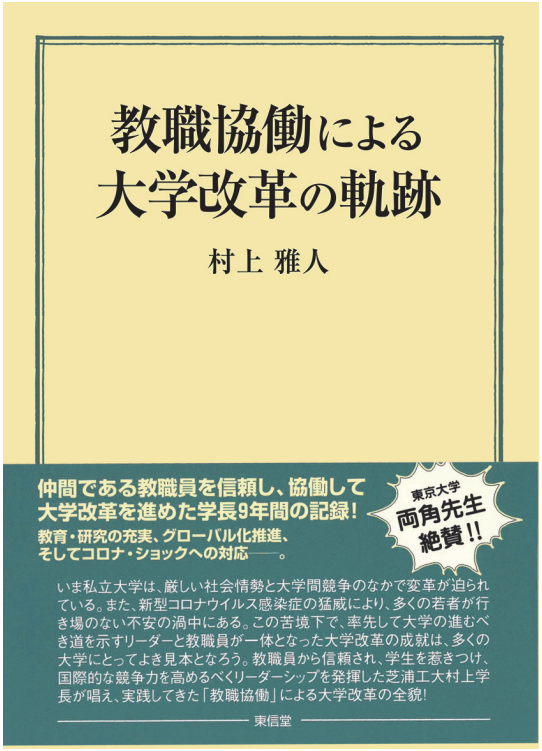
校友会の皆さまへ

2021 年 4 月に芝浦工業大学学長に就任しました工学部機械工学科の山田純です。宜しくお願いいたします。新型コロナウィルス感染症が全世界に広まり、これまで通りの大学教育が困難な状況での着任となりました。このため、学長としての最初の仕事は、コロナ禍における 2021 年度の授業方針を定めることとなりました。

コロナ感染症の拡大が本格化した昨年前期は、急遽すべての授業をオンライン（ネットワークを通じた遠隔授業）とし、学生の皆さんに学修の機会を提供しました。後期に入り、感染症の拡大が落ち着きを見せたことをうけて、大学への登校の機会を増やすべく、実験・実習系の科目を中心に対面授業や課外活動を再開しました。しかしながら、コロナ禍前にはほど遠い状況で、キャンパスの活気は失われたままです。学生にとって、キャンパスは学びの場であるだけで無く、課外活動や友人との触れ合いを通じた交流の場でもあります。学生はキャンパスでの交流を通して、社会人としての人間性や社会性を身につけます。したがって、大学の使命は、学修だけでなく、交流の機会を提供することもあると考えています。キャンパスにおいて感染リスクを完全に抑えることは困難ですが、新しい教学執行部の皆さまにはこの思いを共有していただき、2021 年度の授業方針を定めることができました。オンラインの授業を残しつつも、学生の皆さんに大学への登校を極力促すものとしました。

大学のオンライン授業に限らず、この度のコロナ禍により、ICT の導入が飛躍的に進み、多くのことが離れていてもできるようになりました。これをきっかけに社会の様相は一変すると考えられます。大学は、この変貌する社会に対応できる学生を輩出しなければなりません。このことは、大学の教育にも改革が求められていることを意味します。私たちは何も問題がなければ保守的になりがちです。小さな改革であってもそれを進めるには労力が必要でした。しかし、この度のコロナ禍で、これまでのやり方が通じないということが、多くの場面で共有されています。改革には良い機会です。アフターコロナの芝浦工業大学のあり方を議論し、追求していきたいと思います。応援宜しくお願いいたします。

村上前学長の著書紹介



村上雅人学長の著書が2021年2月5日、東信堂から出版されました。
本書は3月末での任期満了に伴う退任を記念したもので、3期9年にわたる
学長在任中の改革の実績などを自身が振り返った内容になっています。

「教職協働による大学改革の軌跡」
村上雅人 著

東信堂　販売ページは
こちら→

内容（東信堂Webページより）

仲間である教職員を信頼し、協働して大学改革を進めた学長９年間の記録！
教育・研究の充実、グローバル化推進、そしてコロナ・ショックへの対応―。
いま私立大学は、厳しい社会情勢と大学間競争のなかで変革が迫られている。
また、新型コロナウイルス感染症の猛威により、多くの若者が行き場のない不安の
渦中にある。この苦境下で、率先して大学の進むべき道を示すリーダーと教職員が
一体となった大学改革の成就は、多くの大学にとってよき見本となろう。教職員から
信頼され、学生を惹きつけ、国際的な競争力を高めるべくリーダーシップを発揮した
芝浦工大村上学長が唱え、実践してきた「教職協働」による大学改革の全貌！

芝浦工業大学校友会は、箱根駅伝出場を様々な形で支援しています

芝浦工業大学

第97回箱根駅伝で関東学生連合チーム10区に陸上競技部松川さんが出場

2021年1月2日・3日開催の第97回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に、陸上競技部の松川雅虎さんが関東学生連合チームへと選出され10区に出場しました。感染症対策として応援団はテレビ越しの声援となりましたが、強豪校ひしめく中17位で受けた襷を15位に押し上げる力走を見せました。10区23kmを1時間10分50秒で走り、区間6位相当（オープン参加のため参考記録）のタイムを叩き出しました。2018年の第94回箱根駅伝では、芝浦工大初のランナーとして矢澤さん（当時 土木工学科4年）が1区を走りましたが、松川さんはその区間を折り返すかたちとなりました。

松川雅虎さんからのメッセージ
（まつかわ みやと　デザイン工学科2年）

デザイン工学部2年の松川です。箱根駅伝の応援ありがとうございました。10区の23kmという距離は今までレースをしてきた中で1番長い距離で、とても辛いレースでしたが、夢の舞台、とても楽しんで走ることが出来ました!そして皆さんのご声援のおかげで区間6位相当という結果を残すことが出来ました。
今大会での経験を今後しっかりと活かし、チームでも個人でもまだまだ上を目指していきたいと思います。本当にありがとうございました!

特別企画

「あなたの思いは届いたか」

しばうら人
在学生の「今」

芝浦工業大学校友会は、「コロナ対策学生支援プロジェクト募金」に賛同し、学生の学業継続を支援しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、保護者の家計が急変したり、学生のアルバイト収入が激減したりするなど、学業継続に支障をきたす状況が発生しました。そのため、2020年4月よりコロナ対策学生支援プロジェクトを設立し、集まった募金により学生臨時給付奨学金は延べ252人、コロナ対策授業料減免奨学金　は91人（2021年3月末時点）へ速やかな経済支援を行うことができました。

機械系学部４年Ｓさん
（2020 年度当時）

●援奨学金が繋いだ大学院での研究継続

学期中は教職課程と専門課程の勉強を両立させ、長期休暇中には課外活動に時間を割けるよう、自己管理の方法を学び続けてきました。実家から片道2時間以上の通学路の中で、電車内でもこなせるレポートを進め、講義のない日には広い場所を必要とする課題と時間のかかるレポートを進めるように計画していました。与えられた時間の中で自分が抱えることのできる負担量はどれだけなのか、また自分自身がつぶれないようにするにはどのように対処すべきなのかを大学生活の中で学ぶことができたと思います。

また、長期休暇時にはアルバイトで交通費を工面しつつ、ボランティアや部活動、ｇｐＢＬに参加するなど学期中には時間がなくできていなかった活動をしていました。教職課程を履修していく中で興味を抱くようになった心理学や社会学も、子どもたちとの交流や学習支援のボランティア活動から子ども達の現状を肌で感じ、「知識」として学んだだけではなく、その危機感や重要性を痛感することができました。ｇｐＢＬにおいても、海外に出てみることで日本との価値観の違いを感じることができ、部活動でも座学で学んだ内容を実際に自分の手でやってみることで理解を深められたと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大と２０２０年４月の緊急事態宣言の影響で、家庭の収入が急に不安定になり、同時に案内のあった大学からの奨学金に申請しました。この奨学金を頂けたこと、学費の減免をしていただけたことによって無事卒業し、大学院に進学し研究を継続できることができました。援助に感謝し、社会の発展に貢献できるよう微力ながらも精進していきます。

※ gPBL（global Project-Based-Learning：グローバル課題解決型学習）

芝浦工業大学学生臨時給付奨学金・コロナ対策授業料減免奨学金概要

意欲があるにも関わらず、コロナ禍によって経済的に学業継続が困難となる学生を対象に、臨時給付奨学金を支給する。教職員、校友会や趣旨に賛同いただく個人・団体・法人の方々からの「コロナ対策学生支援プロジェクト募金」が資金にあてられる。学位取得を目的に在学する正規在学学生一人に対し、月 10 万円を最大 5 か月申請できるものであり、その申請には新型コロナウイルス感染拡大による収入減少を証明する書類の申請が必要である。また同様に、1/2 を上限に授業料等の減免を実施する。

詳細

芝浦工業大学学臨時奨学金　https://www.shibaura-it.ac.jp/news/nid00001146.html
芝浦工業大学コロナ対策授業料減免奨学金　https://www.shibaura-it.ac.jp/news/nid00001156.html

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

■新入生との Zoom 女子会 開催

2020 年 9 月 14 日に、女子新入生が学部学科の枠を越えて交流することを目的として Shiba-jo プラチナネットワーク主催の Zoom 女子会を開催しました。

2020 年度入学の新入生は新型コロナウイルスの影響で春のオリエンテーションなどのイベントはすべて中止。前期は全てオンライン授業となり、大学への登校機会がありませんでした。そんな新入生たちの交流の場として、Zoom のブレイクアウトルームで 5、6 人ずつに分かれて座談会を行いました。クラブサークル、授業などの大学生活で楽しみにしていることや、ステイホームの過ごし方、アルバイトはどうしているか？など新入生ならではの会話がはずみました。各グループには芝浦工大の職員である OG や、芝浦工業大学男女共同参画推進室長の伊藤洋子教授も参加し、大学生活のアドバイスを行ったりもしていました。

今回は 25 人の新入生が参加し、終了後には半分以上が参加者同士で連絡を取り合ったとの声があり、今後の学生生活で顔を合わせるきっかけ作りができました。

■ Shiba-jo オンライン懇親会開催

2021 年 3 月 6 日、Shiba-jo プラチナネットワークの懇親会としては初となるオンライン懇親会を開催しました。

第 1 部では池田歩代表による Shiba-jo の活動紹介、男女共同参画推進室長の伊藤洋子教授による大学の男女参画推進の取り組みについて紹介がありました。次いで全体で自己紹介を兼ねた近況報告をし合いました。

第 2 部では Spatial Chat を用いた歓談を行いました。自分のアイコンをドラッグして自由に移動でき、大人数でもアイコンを操作して話をしたい人と自由に歓談できるシステムで、使い方に慣れるまで少し戸惑いながらも、久しぶりのメンバー間での歓談や、新しいメンバーとの交流を楽しみました。

在学生、卒業生、教職員、会員以外の方も含めて 24 人の参加があり、遠方に住んでいたり、普段仕事や育児で参加がかなわない参加者にとっても、オンライン開催ならではの新たな懇親会のスタイルを確立できました。

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。

異業種 / 同業者交流としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

第 1 部オンライン懇親会の様子

第 2 部 Spatial Chat を用いた歓談の様子

入会申込はこちらから
https://goo.gl/bLzTAj

Shiba-jo プラチナネットワーク会員数

種別	卒業生教員	卒業生職員	卒業生	学部生	大学院生	教員	職員	計
人数	1	7	69	16	7	17	12	129

2021 年 3 月現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局
TEL：048（720）6440
E-mail：desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

実学サロン
～変革の時代の経営を考える～

実学サロンの講師は、校友です。１０年間近い実学サロンを振り返る。

コロナ禍の影響で、実学サロンを 2019 年 10 月に開催（30 回）以来、2 年間開催ができないでいます。早期にコロナ感染が落ち着き、校友各位が一同に集まって交流できることを待ち望んでいます。

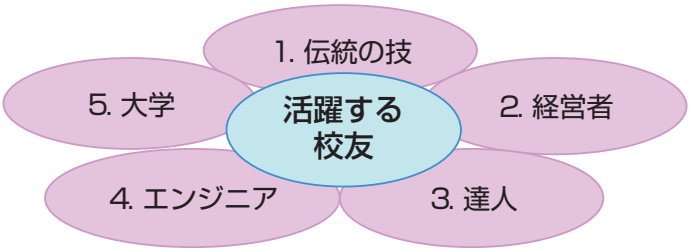
2011 年当時の泉澤定雄副会長・総務委員長が、在学生向けに取組んでいた「実学教育講座」を見直し、校友会会員のサロンづくりを議論しました。外部講師を呼んで開催する意見もありましたが、校友の中に活躍している方も大勢いるとの気付きもあり、校友の中から講師を選ぶことを原則にしました。

講座と校友倶楽部での懇親会とを一体にして開催する企画としました。会員への情報提供や会員間の情報交換を目的におき「実学サロン」と命名しました。社会で活躍する校友や在学生にとって、ビジネス経験や研究活動の実践的経験を聞くことは、楽しく有意義なことであることが理解されました。

社会で活躍する校友の活動を５つに分類

30 回の講師を下記に示す５つに区分してみました。実に多才な顔ぶれです。

「1. 伝統の技（わざ）」では、杜氏、刀匠、北辰一刀流宗家、剣道七段と、修行に時間のかかる、それぞれの道での達人です。「2. 経営者」では、上場会社の社長になって活躍しています。「3. 達人」には、ソムリエ、ジャズシンガー、コンサートの音づくり等、日常的に識ることができない裏話を聞くことができました。「4. エンジニア」では、女性エンジニア、国土交通省などでの活躍する校友から苦労話を伺うことができました。「5. 大学」では、母校で教壇に立っている先生たちから最近の研究成果の講義を受けました。（小平）



実学サロンのホームページでの案内　http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html

案内は、校友会のホームページをご覧下さい。

実学サロン開催案内連絡サービス　E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名と学科・卒業年次を校友会事務局まで、上記メールアドレスに、ご連絡ください。

1. 日本の伝統の「技（わざ）」を伝承する校友

朝日川酒造の杜氏・常務取締役（第７回）

山形の小さな策蔵の酒造り

朝日川酒造は、山形県西村山郡河北町谷地にあります。昔ながらの酒造りで、他の蔵では使ってないような木の道具を多く使って酒造りをしています。講演当時は 600 石ほどのお酒を製造販売しており、日本で唯一官庁が主催する全国新酒鑑評会では５回ほど金賞を受賞した実績をもっています。酒の作り方だけでなく、お酒の美味しい飲み方を伺うことができました。（2013.9.6）

浅黄正彦（S54　工業化学科卒）

渡邊繁美（S40　金属工学科卒）

繁平鍛刀場・日本刀の刀匠（第 18 回）

日本の工業技術の礎である鍛冶職

大学を卒業して 50 年、日本刀づくりに取組んできた刀匠です。小学生の頃に祖父から日本刀を見せられ、砂鉄から日本刀がつくられることをしったことで刀鍛冶に興味を持ちました。子供の時に自宅の囲炉裏で砂鉄から鉄を造ろうとしたができなかったことが、大学に入学して金属のことを学ぼうと思うきっかけとなりました。卒業して直ぐに人間国宝の宮入昭平刀匠の弟子となりました。職人の技から工学への繋がりや日本刀づくりの科学について、職人としての経験を踏まえた上での貴重なお話を伺うことができました。（2016.3.18）

千葉家正伝北辰一刀流第七代宗家（第 22 回）

心を強くすることが人を強くする

椎名市衛（S52　土木工学科卒）

強くありたいとは誰もが思います。肉体を強くすれば精神も強くなるのか、技術を磨けば精神も強くなるのでしょうか。いくら強靭な肉体や精妙な技術を得ても、臆病な心があっては、いざというとき、使いこなせません。弱小な肉体でも「窮鼠猫を咬む」「火事場の馬鹿力」のごとく、動物や人間は心ひとつで強くなれます。心を強くすることが人を強くするといえます。強い心とは怖がらない心、死をも畏れぬ捨て身の心のことです。剣術の体験を通して「捨て身」の心に近づくことができます。（2017.4.7）

剣の理法による人間形成の道・剣道七段（第 30 回）

剣道でグローバルリーダーを目指す

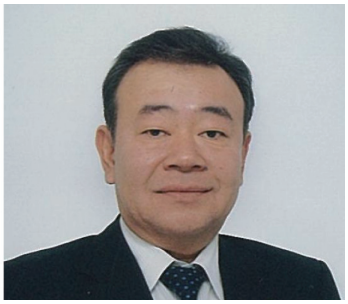
多田竜三（H11　機械工学科卒）

剣道防具市場の９割を占める機械づくりの剣道具を世界で初めて祖父の多田一萬が製造しました。大学卒業後、国外の剣道市場への興味から単身フランスへ渡りました。パリの小売店との剣道具輸出取引を成功させました。３代目となる講師の多田竜三氏は、現在、剣道具製造において市場に無い新しい製造方法で剣道具を開発し、製造販売中です。20 年以上の海外取引や剣道指導経験からスポーツ庁の考えるインバウンド構想“武道ツーリズム”にも協力しています。今後の世界の武道の在り方、また、そこにおける剣道の価値について伺うことができました。（2019.10.18）

2. 経営者になって社会に貢献する校友

アーネストワン代表取締役社長（第４回）

会社経営の現場で生きる技術経営（MOT）



西河洋一
（H21　院工学マネジメント研究科修了）

リーマンショックで売れない住宅の在庫が積み上がりつつありました。「資金繰りの心配が生じる」「打開策を考えなければ」と気付き、米国の同業者の決算情報とアーネストワンとを比較しました。グラフ化すると、利益率の低下のしかたが似ていることが分かりました。「これは大変な事になる、日本も同じ住宅バブルだ」と気付いた瞬間、背筋がぞっとし、眠れない日々が続きました。「インフレモデルから、デフレモデルに切り替える」「他社より一刻も早く不良在庫を一掃する」と決心しました。技術経営戦略的な視点からのビジネス展開についてお話を伺うことができました。（2013.2.8）

山口隆士（S43　機械工学第２学科卒）

兼松エンジニアリング代表取締役会長（第９回）

高知発・ものづくり企業のおもしろさ

高知市で主に強力吸引作業車、高圧洗浄車、汚泥脱水機などの特殊車両の製造、販売を手掛けています。「エンジニアリング会社」「技術の兼松」と言っても、ハイテク集団ではなくローテクをベースに経験を積み上げてきた技術集団です。経験を大切にし、新しい事に挑戦する活動力の源泉は、ユーザニーズにあります。常に技術を通じて社会や人々に貢献し、四国の土佐にあって土佐にない企業であり続けてきました。顧客の求める技術の開発への取り組みと経営についてお話を伺うことができました。（2014.2.28）

六興電気代表執行役社長（第 10 回）

開発作業のマネジメント、失敗した軍用機から学ぶ

長江洋一（H19　地球環境工学）

戦時下という特殊な環境において、多くの新しい軍用機が短期間で開発されました。しかし成功したプロジェクトの陰では、多数の失敗作が生み出されました。これらを検証してみると、プロジェクトの失敗は、運用思想やプロジェクトの進め方といったマネージメントに問題があった事に気付かされます。問題はマネージメントなので、軍用機に限らず意思決定を伴うすべてのプロジェクトで起きうる問題であり、失敗したプロジェクトについて学ぶのは、将来に向けて有益なことでしょう。３例ほどの失敗プロジェクトを紹介して頂き、何が原因かを議論することができました。（2014.4.18）

■元 TOTO 専務取締役（第２回）

吉久保誠一（S39　機械工学科卒）（2012.9.28）

ウォシュレットの企画・開発を担当して

■インテル取締役・副社長執行役員（第５回）

阿部剛士（H21　院工学研究科博士（後期）修了）
（2013.4.26）

イノベーションは止まらない

■イーピーエム代表取締役社長（第 19 回）

朴　栄光（H16　機械制御システム学科卒）
（2016.5.13）

心臓外科手術訓練用シミュレーターの開発

■丸嘉工業代表取締役会長・社長（第 29 回）

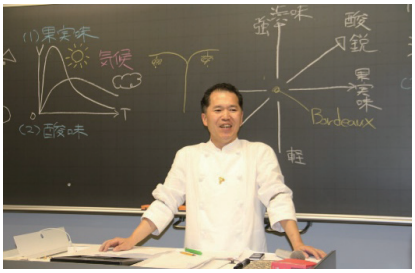
土田英治（S44　金属工学科卒）（2019.4.12）

丸嘉工業の経営と冷間鋳造

3．その道の達人といわれる校友

ワイン厨房たるたるオナーソムリエ兼シェフ（第 14 回）

男と女のワイン術



伊藤博之（H2　工業化学科卒）

ワインはひとつの酒なのに味わいの種類が多く、それぞれに個性があります。果実味、辛さ、酸 味、渋味という要素をそれぞれが持っています。その中から自分の好みのワインを見つけるのは砂漠の中から 1 本の針を探すようなものです。迷ったら著書『男と女のワイン術』を見てあなたの「原点」に立ち戻って欲しいと考えています。あなたと杯を交わす人のワインを選ぶ際にも思い出して欲しいものです。好きだという基点を見つけてワインに慣れ親しんではと語ってくれました。（2015.7.24）

マイケル中山（S44　機械工学科卒）

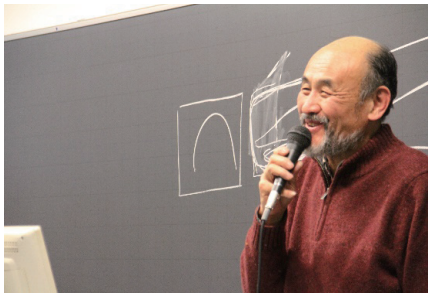
ジャズシンガー（第 27 回）

心に響く歌を歌い続けて半世紀

大学時代、マイケルは軽音楽部で活動をしていました。卒業してすぐにプロの道に入り、赤坂、新宿、銀座と拠点を変えながら、シンガーとして活動してきました。その間、レコードを出したり、テレビタレントとして活躍の時期もありました。実学サロンでシンガーは、初めての登場です。多彩な人材を輩出している校友の一人である中山氏との出会いを歌とともに楽しむことができました。（2018.9.28）

コーストライン代表取締役（第 28 回）

コンサートの音作りを手掛けて 40 年


清宮昌治（S54　工業経営学科卒）

コンサートを演出する裏方として、数多くの実績をお持ちです。PA（Public Address：仮設音響）という仕事の認知度が日本では低く、市民権が得られていないと語ります。PA システムの基礎と歴史を学ぶとともに、能の舞台を取り上げ、日本における建築音響にも言及していただきました。イベントを演出する、コンサートを支える舞台裏の音楽秘話を含めて、歌手の人間模様を語って頂きました。（2019.1.25）

■アフリカ協会理事（第 3 回）

淺野昌宏（S44　電子工学科卒）（2012.11.16）

アフリカは魅力ある市場か

■朝日新聞社製作本部企画監理チームシステム監理担当部長（第 13 回）

（2013.4.26）

メディア興亡のメカニズム

馬場康志（H22　院工学マネジメント研究科修了）

■原田伸銅所仙台工場副工場長（第 21 回）

谷口守哉（H10　二部機械工学科卒）（2016.12.9）

技術者が学ぶ経済学、商学、経営学

■館山市高齢者福祉課（第 25 回）

金井昭三（S41　機械工学第二学科卒）（2018.4.11）

介護予防、認知予防の生活支援サービスに取組む

4．エンジニアリング分野で活躍している校友

国土交通省大臣官房庁営繕部営繕環境調査官（第 16 回）

国土交通省における公共建築工事に関する最近の施策

峯村高志（H3　二部電気工学科卒）

地球温暖化対策を講じたとしても、地球温暖化の影響を完全に避けることは難しい状況となってます。影響への適応を検討・推進していくことが必要とされ、温室効果ガスの排出削減だけでなく、悪影響への備えを合わせて地球温暖化対策に取り組む「適応計画」の策定が課題になっています。平成 26 年 6 月に施工の「公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正 (改正品確法)」の背景、目的と基本理念の追加、発注者責務の明確化、多様な入札契約制度の導入・活用について伺いました。(2015.11.24)

和氣美枝（H6　工学部建築学科卒）

介護離職防止対策促進機構（第 23 回）

介護者支援事業でビジネス

団塊ジュニア世代以降にとっては「働く」と「介護」の問題が目前に迫っています。母を自宅で介護しながら「介護離職防止」「仕事と介護の両立」の啓発を「介護者支援事業」と銘打って生業としている日本で唯一の起業家です。32 歳の時、母の病気を切欠に暗黒の 30 代を送ります。38 歳にして「介護離職」。43 歳に心機一転「介護者支援の事業化」「前例がなければ作ればいい」。学生時代からサラリーマン時代に培ったマインドが生きています。(2017.5.12)

太洋塗料取締役・技術部長（第 24 回）

中小企業のエンジニアとは

神山麻子（H6　工学部工業化学科卒）

3K といわれる塗料メーカーの中で女性エンジニアとして様々な経験をしました。工業用塗料の開発から建築用、さらには一般消費者向け塗料の開発まで、あらゆる分野に携わることが出来たのは中小企業ならではの面白さです。開発、企画、営業、お客様訪問と職種にこだわらない自由な活動ができました。デザイナーとのコラボレーションから生まれた『マスキングカラー』の開発秘話や女性が少ない職場で働くことについてお話を聞くことができました。(2018.2.23)

■イー・ブランド 21 代表取締役（第 1 回）　小平和一朗(S45　電子工学科卒)　(2012.7.6)

エンジニアリング・ブランドで差別化、高付加価値化

■元横河橋梁（第 8 回）　夏目光尋(S34　機械工学科修了)　(2013.11.22)

鋼構造物の溶接

■元東京電力で各種原子力業務に従事（第 15 回）　大原武光(S37　電気工学科卒)　(2015.9.18)

福島第一原子力発電所の大事故から学ぶリスク管理

■山嵜一也建築設計事務所代表（第 26 回）　山嵜一也(H12　院建築工学修了)　(2018.6.29)

ロンドン五輪で働いた建築士から東京五輪へのメッセージ

5．大学の教壇に立って後輩を指導する校友

工学部建築工学科准教授（第 11 回）

3D技術がものづくりを変える

志手一哉
（H21　院工学マネジメント研究科修了）

建築産業に BIM（Building Information Model）という３次元 CAD を超えた概念が急速に広がっています。業界では、BIM を中核としたシミュレーション、CAM、3D スキャナ、3D プリンタなどを駆使した生産革新に注目が集まっています。日本の建築産業はインテグラルの代表例ですが、BIM はモジュラーなプロセスと相性が良いのです。BIM に関する実務や教育の事例を通じて、3D 技術による生産システム変革の展望や課題を伺いました。（2014.7.11）

山西陽子（H９　機械工学科卒）

工学部機械工学科准教授（第 12 回）

医用工学のミクロな世界へようこそ

髪の毛１本の太さは約 100㎛です。この㎛という小さい世界において活躍するマイクロ医用機器や、微細加工による細胞操作・バイオ工学の最近の発展は、再生医療や iPS 細胞研究の発展とともに目覚ましいものがあります。小さな空間で活躍する医用機器の説明と、山西先生が発明した高速発射されるマイクロ気泡を使用した新しいタイプのメスや注射器がどのように医療・バイオ・遺伝子工学・製薬分野で役立っているのかの説明を受けるとともに、新しい医薬理工の異分野融合における先端研究について伺いました。（2014.12.16）

工学部土木工学科准教授（第 20 回）

建設分野の情報化・高度化を実現する空間情報技術

中川雅史（H12　工学部土木工学科卒）

地図というと、以前は紙の製品でしたが、現在はデジタル化が進んでいます。カーナビやスマートフォン、パソコンといった機器で扱う地図の方が一般的です。測量にもとづく地図づくりには、すでに高性能なセンサやコンピュータ、人工衛星、ロボットを利用した最新技術が駆使されています。地図好きな人も専門家になりたい人も測量や地図づくりを深く知るためには、測量や地図に関する古典的な知識や工夫を学び、最新技術を知ることが必要です。実学サロンでは、最新の測量技術でどのようなことができるのかを伺いました。（2016.9.16）

■生命科学科准教授（第６回）

渡邊宜夫（H12　機械工学科卒）（2013.6.20）

機械工学･人工臓器･バイオテクノロジー分野の研究活動に取組んで

■名誉教授（第 17 回）

柴田順二（S40　機械工学第二学科卒）（2016.1.28）

凄ワザ、究極の真球の加工の研究

【記事】
（1）肩書は、全て講演当時のものです。
（2）院：大学院

表　実学サロン第１回（2012 年７月６日）から第 30 回（2019 年 10 月 18 日）までのテーマと講師

回　数	開催日	テーマ	講　師	所　属　（講演当時）	卒　業
第１回	2012.7.6	エンジニアリング・ブランド で差別化、高付加価値化	小平　和一朗	㈱イー・ブランド 21 代表取締役、博士	電子工学科 1970 年
第２回	2012.9.28	ウォシュレット の企画・開発を担当して	吉久保　誠一	TOTO 元専務取締役、博士	機械工学科 1964 年
第３回	2012.11.16	アフリカは魅力ある市場か	淺野　昌宏	一般社団法人 アフリカ協会理事	電子工学科 1969 年
第４回	2013.2.8	会社経営の現場で生きる技術経営（MOT）	西河　洋一	㈱アーネストワン 代表取締役社長	大学院工学マネジメント研究科 2009 年
第５回	2013.4.26	イノベーションは止まらない！	阿部　剛士	インテル㈱　取締役 兼　副社長執行役員	大学院工学研究科 博士 2009 年
第６回	2013.6.20	機械工学・人工臓器・バイオレオロジー分野 の研究活動に取り組んで	渡邉　宣夫	本学生命科学科 准教授、博士	機械工学科 2000 年
第７回	2013.9.6	山形の小さな酒蔵の酒造り ―おいしいお酒の作り方と飲み方―	浅黄　雅彦	朝日川酒造㈱	工業化学科 1979 年
第８回	2013.11.22	鋼構造物の溶接	夏目　光尋	元横河橋梁	機械工学科 1959 年
第９回	2014.2.28	高知発・ものづくり企業のおもしろさ	山口　隆士	兼松エンジニアリング㈱ 代表取締役会長	機械工学第２学科 1968 年
第 10 回	2014.4.18	開発作業のマネジメント、失敗した軍用機から学ぶ	長江　洋一	六興電気㈱ 代表執行役社長	大学院地球環境工学 2007 年
第 11 回	2014.7.11	3D 技術がものづくりを変える ―建築業界における BIM の普及、その展望と課題―	志手　一哉	本学工学部建築工学科 准教授、博士	大学院工学マネジメント研究科 2009 年
第 12 回	2014.12.16	医用工学のミクロな世界へようこそ ～高速気泡メスの開発と細胞レベルの医療～	山西　陽子	本学工学部機械工学科 准教授、博士	機械工学科 1997 年
第 13 回	2015.2.27	メディア興亡のメカニズム The Dark Side of Innovation ～「新聞はネットに食われている」は本当か？～	馬場　康志	朝日新聞社 製作本部 企画監理チーム監理担当部長	大学院工学マネジメント研究科 2010 年
第 14 回	2015.7.24	男と女のワイン術 ―あなたのワインの基準・基点を探す方法―	伊藤　博之	オーナーソムリエ兼シェフ	工業化学科 1990 年
第 15 回	2015.9.18	福島第一原子力発電所の大事故から学ぶ リスク管理	大原　武光	元東京電力で各種原子力業務	電気工学科 1962 年
第 16 回	2015.11.24	国土交通省における 公共建築工事に関する最近の施策など	峯村　高志	国土交通省大臣官房 調整官	工学部二部電気工学科 1991 年
第 17 回	2016.1.28	凄ワザ、究極の真球の加工の研究	柴田　順二	本学名誉教授 工学博士	機械工学第二学科 1965 年
第 18 回	2016.3.18	日本の工業技術の礎である鍛冶職について	渡邊　繁美	繁平鍛刀場渡邊繁平（刀銘）	金属工学科 1965 年
第 19 回	2016.5.13	心臓外科手術訓練用シミュレーターの開発 ―良い人との出会いについて―	朴　栄光	イーピーエム㈱ 代表取締役社長	システム工学科 機械制御システム学科　2004 年
第 20 回	2016.9.16	地図と測量 ―建設分野の情報化・高度化を実現する空間情報技術―	中川　雅史	本学工学部土木科 准教授　博士	工学部土木工学科 2000 年
第 21 回	2016.12.9	技術者が学ぶ経済学、商学、経営学 ―ものづくりの実学に原価の把握がある―	谷口　守哉	㈱原田伸銅所 仙台工場副工場長、博士	大学院工学マネジメント研究科 2006 年
第 22 回	2017.4.7	心を強くすることが、人を強くすること ―武術を通して人を育てる―	椎名　市衛	日本伝統文化保存会 会長、工匠	工学部土木工学科 1977 年
第 23 回	2017.5.12	介護者支援事業でビジネス ―知って得する介護の知識―	和氣　美枝	介護離職防止対策促進機構 代表理事	工学部建築学科 1994 年
第 24 回	2018.2.23	中小企業のエンジニアとは ―女性エンジニアが輝くために―	神山　麻子	太洋塗料株式会社 取締役　技術部部長	工学部工業化学科 1994 年
第 25 回	2018.4.11	介護予防、認知予防の生活支援サービスに取り組む ―さわやか健康マージャンで元気を取り戻した高齢者達―	金井　昭三	館山市高齢者福祉課 生活支援コーディネーター	機械工学第二学科 1966 年
第 26 回	2018.6.29	ロンドン五輪で働いた建築士から東京五輪へのメッセージ ＜都市をプレゼンする大会の在り方や計画立案の背景を語る＞	山嵜　一也	山嵜一也建築設計事務所 代表	大学院建築工学 2000 年
第 27 回	2018.9.28	心に響く歌を歌い続けて半世紀 ＜就職せずにジャズシンガーの道を目指す＞	マイケル　中山	ジャズシンガー	機械工学科 1969 年
第 28 回	2019.1.25	コンサートの音づくりを手掛けて 40 年 ＜音楽が好きだから取り組んだ音を伝える技術＞	清宮　昌治	㈱コーストライン 代表取締役	工業経営学科 1979 年
第 29 回	2019.4.12	丸嘉工業の経営と冷間鋳造	土田　英治	丸嘉工業㈱ 代表取締役会長・社長	金属工学科 1969 年
第 30 回	2019.10.18	剣道を通じて世界に通じる ＜グローバルリーダーを目指す＞	多田　竜三	㈱日本武道宮崎・Nbnetwork 代表	機械工学科 1999 年

各界で活躍する校友の皆様

●北海道社会人野球の復活へ

日本野球連盟北海道地区連盟会長
柳　俊之
通信工学科
昭和 45 年卒業

この度、2021 年２月の連盟総会で、会長に選任されました柳でございます。

新型コロナウィルスとの戦いが２年目を迎えましたが、まだまだこの状況は続くと思われます。春からワクチン投与がスタートしており、早く以前の日常が訪れることを願っております。

野球のみならず、スポーツ界全体にグローバルスタンダードを作るためのスタートとなる今年度、北海道連盟のかじ取りを担うこととなりました。

これまでの経験を活かして、北海道社会人野球をトップレベルに近付け、魅力あるゲームをたくさん届けたいと思います。

そのためには、選手のレベルアップはもちろんのこと、野球というスポーツを通じ、社会貢献・地域貢献をしていかなければと思っております。

監督・コーチ・選手はもちろんのこと連盟役員も含め、資質の向上や存在感のある活動を目指し頑張っていく所存で御座いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2021年（令和3年）3月25日（木曜日）　北海道新聞

ひと 2021

日本野球連盟道地区連盟会長に就いた

柳（やなぎ）　俊之（としゆき）さん

社会人野球の現役時代は名投手。引退後は日本野球連盟副会長を務めるなど、アマチュア球界の振興に携わってきた。日本野球連盟道地区連盟の会長職は企業経営者らが代々就いてきたが、異例の〝登板〟要請を受けて2月末に就任した。企業チームが減って、取り巻く環境が厳しいことは身に染みている。「社会人野球の存在価値を示したい」

岩見沢出身で岩見沢東高から芝浦工大、電電北海道に進んだ。1974年の都市対抗野球では大昭和製紙北海道の補強選手で出場し道内勢初優勝に貢献、自らは最優秀選手の橋戸賞に輝いた。会社の支援で各地を遠征し、大会になれば社員らから声援を受ける。そんなチーム同士がしのぎを削る、道内社会人野球の最盛期に身を置いた。

引退直後から連盟に関わり、近年は副会長や会長代行を務める中で、印象的な出来事があった。あるチームで活躍した選手に賞を贈るため、勤務する会社の上司にもあいさつしたいと選手に連絡したところ、断られた。働きながら野球を続けることへの理解が得にくくなっていると感じた。だからこそ「プライベートな時間でやる野球を通じ、地域や社会に貢献できる」ことをアピールしたいという。

就任時に、チームや選手の強化、ファン層の拡大、地方自治体との連携などの方策を議論する「将来構想プロジェクト委員会」を立ち上げると表明した。早ければ年内に結論を出すことを目指し「日本代表を北海道から1人でも多く送り出したい」と話す。札幌在住の73歳。（安房翼）

●故野々上熹氏を偲んで

故　野々上熹氏（前列左）
平塚顧問（前列右）
榊原支部長（後列左）
尾畑副支部長（後列右）
2019 年 6 月 野々上氏自宅にて撮影

●略歴

昭和 2 年 4 月 12 日生
昭和 23 年 3 月　芝浦工業専門学校電気学科卒
昭和 23 年 4 月　名古屋鉄道㈱入社
昭和 50 年 6 月～昭和 58 年 6 月　網走バス㈱　代表取締役社長
昭和 58 年 6 月～昭和 62 年 6 月　㈱網走ハイヤー　代表取締役社長
昭和 62 年 6 月～平成 8 年 12 月　名鉄海上観光船㈱　代表取締役社長
平成 5 年 7 月～平成 8 年 12 月　㈱名鉄名港遊覧船　代表取締役社長
令和 2 年（2020 年）6 月 7 日死亡　享年 94 歳

●校友会での活動履歴

昭和 51 年～昭和 62 年　芝浦工大北海道支部北見網走分区　顧問
昭和 63 年～平成 6 年　芝浦工大愛知支部　副支部長
平成 7 年～平成 18 年　芝浦工大愛知支部　支部長
平成 18 年 5 月 16 日　学校法人芝浦工業大学　名誉賛助員
平成 19 年 6 月 9 日　芝浦工業大学校友会　功労者表彰授与
平成 30 年 2 月 4 日　愛知一中　旭丘高校野球倶楽部　名誉会長

（平塚顧問からの弔文より抜粋）

前略

野々上さんの件については、私も気になっていまして…驚きました。

心からお悔やみ申し上げます。

若いころから 20 年余りもお世話になりました。数年前に奥さんに先立たれてからは寂しい思いをされておられたと思いますが、車イス生活ながらお元気でしたので…。昨年（2019/6/25）愛知支部に寄付をしたいので自宅に来てほしい・・との連絡を榊原支部長から頂き、尾畑副支部長と小生の 3 名で伺ったのが昨日の様に思い出されます。上の写真はその時の様子です。

（1965 年（昭和 40 年）電気学科卒　平塚秀雄記）

●野々上熹と芝浦学園の縁 ― 2019 年（令和元年）6 月 23 日野々上氏記述文より抜粋

さて野球部の話からいたしますが、私は戦前愛知一中で野球の選手をいたして居り、伝統ある愛知一中戦前最後のエース選手として活躍しました。たまたま昔のグローブ2ケ、キャッチャーミット1ケ、硬式バット 3 本、硬式ボール 20 ケ位、疎開先にしまって空襲をまぬがれ、それを東京に持参しました。丁度学友に髙木君（元野球選手）も復学して居り、その他野球好きの連中も数名（布施田、小髙、瀬野、細入他数名）健在で、空襲の焼跡で勝手に野球の練習を始めた。布施田君の父上が日刊工業新聞の編集局長で御自宅（品川）に在住して居られ、日刊工業として我々の野球クラブに関心を持たれバックアップして頂き、非常に有難かった。

明けて昭和 21 年 2 月の下旬頃、当時の青山学院野球部はしっかりして居り、相手を求めていたらしい。芝浦は未だ野球部として学校から認められて居なかったが、一応我々もチームとしての形は整って居たので、青学と試合をすることになった。芝浦×青学の試合は、昭和 21 年 3 月下旬と憶えている。

小生（野々上）は先発投手で、8 回頃から髙木君がリリーフしてくれたと思う。芝浦 5 点×青学 3 点にて我々が青山学院に勝ったのであります。（青学には有名な瀬尾選手がいた。後の慶大の捕手もやって居られた。）芝浦工専でもびっくりされ、昭和 21 年 4 月より正式に野球部を認めて頂いた。平野教授の大変なお骨折りにて、年間予算 5 万円ということになり、非常に嬉しかった。

その後芝浦工専、青山学院、明治学院等 10 校で東京専門学校リーグを結成し、春季と秋季の年に 2 回総当たりリーグ戦を開催。私の在学中は昭和 21 年秋季、昭和 22 年春季、昭和 22 年秋季の 3 回 10 校によるリーグ戦に参加し、1 回は優勝したと記憶している。

又、戦後昭和 21 年より全国専門学校選手権が挙行されました。決勝は全国各地区で勝ち抜いた 8 校にて関西の藤井寺球場で行われた。昭和 21 年度は、荒巻投手（後の大毎オリオンズのエース）を擁する大分高専が優勝した。我が芝浦は東京予選で敗退した。昭和 22 年の夏は、我が芝浦は東京予選を勝ち抜き関東大会でも代表校となり、全国大会の藤井寺球場へ駒を進め 1 回戦は楽勝し準決勝は大阪工専と対戦、私と髙木の投手リレーであったがスコアーは忘れた。（芝浦 4 - 大阪 1 ?）決勝は東北学院と対峙し、芝浦 0 - 東北 5 で残念ながら敗れ準優勝となった。我がチームは田町の校舎に帰還するや、全校生徒より“よくやった”と褒められ、大変な激励を受けたのであります。

私は昭和 23 年 3 月に卒業し、名古屋鉄道㈱の大学・高専のエリート試験に何とか合格することが出来ました。（応募者 54 名　合格者 18 名）

実は、芝浦在校時代に当時のプロ野球の金星スターズ（今の千葉ロッテ：当時の私の知っていた選手は、センター：坪内、ファースト：西沢、投手：石田等）より、契約金 10 万円位で来ないかとの話があったが、一応お断りした。

※名古屋鉄道㈱の昭和 23 年 4 月 1 日の初任給は、月俸 1,525 円。

（編修 :1970 年（昭和 45 年）建築工学科卒　榊原周造）

支部活動報告

北海道支部

支部長　米澤 稔　建築学科　昭和44年卒業

北海道支部においては、この１年間の活動が COVID 19 の感染防止対策のため、残念ながら全ての集会の催しを中止としました。

特に北海道庁と札幌市は、全国的にも感染予防対策を先駆けて実施した関係で、幹事会で検討し総会も早期に文書会議形式と決断しました。よって、写真は 2019 年 5 月の総会時のものですが、五十嵐元理事長のお元気なお姿が写っています。そんな中ですが、支部だよりだけは力を入れて発行を続けています。会員同士の情報交換と親交を通わすために、一役買うのは支部だよりの大事な役目と確信しているところです。

支部の事務局を、長くお世話になったホクスイ設計様から、下川紘資氏（材料H 21）の事務所に移しました。

新年度中にはコロナ禍も沈静化していくと思いますが、その時には支部事業の催しにもまた多くの会員が集まり、支部活動をより活性化したいものと存じます。

青森支部

支部長　木村 喜有　土木工学科　昭和44年卒業

昨年は年初から新型コロナ感染拡大で、当地青森は感染者の絶対数は少ないとはいえ、弘前さくら祭や青森ねぶた祭が中止となりました。また弘前市で開催の予定であった青森支部の令和２年度総会・懇親会や北海道支部函館分会との青函交流会も開催を見送りました。

曇天気分の１年でしたが、箱根駅伝学連選抜の松川君の活躍には隣県岩手のご出身であることもあり、大いに晴れ渡るニュースとなりました。

コロナワクチンの接種が始まり早期の収束を期待しつつ、今年は昨年見送った支部行事を無事開催できるよう願っております。

青森支部では総会・懇親会を青森、八戸、弘前の３市輪番で開催しており今年は青森市で 10 月開催の予定です。ゴルフ企画もありますので、他県支部様の交流参加も歓迎いたします。

岩手支部

支部長　遠藤 龍一　建築工学科　昭和50年卒業

コロナ過の中、校友会の皆様におかれましてはたいへんな思いをされていることと存じます。

例年であれば、岩手支部総会は本部総会の報告を兼ねて６月下旬に開催しておりますがコロナの関係で、今年の開催は夏以降に様子を見ながら考えようということになりました。

９月に有志が集まり開催の検討をした結果、少数の参加者となることが予想されるが開催しようということになりました。

11 月 28 日（土）「岩手県情報交流センター」で開催いたしました。入館の際の検温・アルコール消毒。会議室に入ってからも検温・アルコール消毒とコロナ対策を万全にして開催しました。もちろん総会の後の懇親会はありません。（各自家に帰って手指の消毒に加えて体内もアルコール消毒しました。）

寂しい今年度の支部総会でしたが、来年度はコロナも収束して多くの仲間が参加し大いに盛り上がる支部総会になることを期待して閉会しました。

追伸　支部活動は今年度は、何も出来ませんでした。

秋田支部

支部長　池田 広志　建築工学科　昭和55年卒業

全国の芝浦工業大学校友会の皆様、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。もしウィルスに罹患された方、また生活に影響を受けられている方々がいらっしゃれば、心よりお見舞い申し上げます。

ここ秋田での感染者数は全国でも 1、２番に少ないところではございますが、昨年はディスタンス等細心の注意を払いながら支部総会、ゴルフコンペの開催ができました。それでも感染対策による普段の生活の制約は何ら変わりません。

母校のキャンパスが閉鎖となり、オンラインでの授業に励んでおられる学生の皆さんには秋田から「フッレー、フッレー」とエールを送りたいと思います。大学本部でも“コロナによる退学者を一人も出さない。”を合言葉に学生たちのサポートに力を入れていると聞き及んでいます。今を乗り切り、早々にコロナ禍が終息し、普段の生活を取り戻せることを願います。

新学長のもと、創立 100 周年に向け新しい時代へと躍進する母校の姿が、皆さんの笑顔とともにあることを祈ります。

宮城支部

支部長　杉﨑 年英　土木工学科　昭和48年卒業

東日本大震災から 10 年そしてコロナ禍へ

3 月 11 日東日本大震災から 10 年を迎えます。

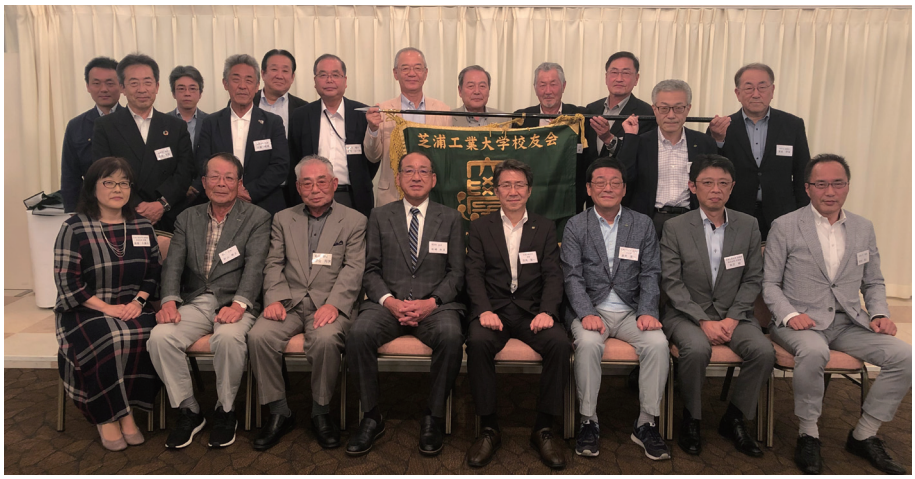
多くの人々が被災し、家を失い家族を失い友人を失い一時期は未来をも失いかけた瞬間もありましたが、力強く復興を遂げてきました。

宮城県支部においても、復興に大変尽力した橋本 孝一社長（S45 年・土木卒）にお願いし、復興状況の視察なども行いました。

多くの芝浦工大卒業生の方々が復興に携わりご協力を頂きましたこと誠に感謝に堪えません。

これから復興の完結段階と思っていた時期にコロナが舞い降りてきました。コロナ禍という中、人々が集まり協力することを良しとしない新しい脅威が来てしまいました。

私たちには校友会を通じた仲間がたくさんいることを忘れずに、SNS やリモートを活用した校友会活動を行っていきたいと考えています。



山形支部

支部長　川越 進　土木工学科　昭和46年卒業

昨年に引き続き、本年度もコロナ禍により支部総会を中止しなければなりません。

全国の校友会の皆様も同様と思いますが、当支部活動は凍結状況にあります。早くこの状況が収束し「各支部総会」そして「全国総会」が盛大に行われ、全国の校友会の皆様にお会いできる事をお祈りいたしております。

添付写真は、一昨年前の支部総会、昨年の庄内地区分会の模様です。来年は置賜地区分会を開催できれば良いのですが…。置賜地区の皆様もうしばらくお待ちくださ い。

20 代 30 代の若い方の参加もお待ちしております。山形支部目標は総会・分会合わせ 30 名参加です。

＜山形支部のフェイスブック開設＞
https://www.facebook.com/shibaura.yamagata
支部の活動案内や情報を発信していきます。
皆様是非ご覧ください。

＜一昨年前の支部総会＞

＜昨年度庄内地区分会＞

福島支部

支部長　樋口 正人　電気工学科　昭和53年卒業

昨年は、福島支部としての通常の活動ができませんでしたが、新たな取り組みを実施しましたので、その取り組みと支部のテーマである「絆」を深めるために実施している「地域交流会」を紹介いたします。

例年実施している「支部総会」を書面による開催としました。その準備の為の幹事会をリモートで実施しました。初の試みでしたので、テスト幹事会を実施して通信状態、ソフトの使い方等を確認してから行いました。今後、集合できない場合の会議スタイルとして活用できます。

福島支部は、支部会員の「絆」を大事にして、相互の親睦を深めることを目的とした支部です。その為、例年秋には「地域交流会」を開催しております。

令和元年には、「双葉郡 視察旅行」と題して、東日本大震災後の復興状況を見学しました。交流会により、被災者に寄り添うことができ、現状を記憶に留めておくことができました。

支部会員には人生経験が豊富で、頼りになる各先輩方が在籍しております。貴方の役に立つ情報もあるはずです。詳細は、校友会の HP にある支部紹介をご覧ください。年齢による会費の減額制度や初年度会費免除制度もあります。連絡お待ちしております。

栃木支部

支部長　池田 猛　土木工学科　昭和48年卒業

栃木支部の活動に際し、校友会本部より格別なご援助を賜り感謝申し上げます。

令和２年度の栃木支部総会は、令和２年 10 月に書面開催により行われました。

コロナ禍の影響を踏まえ、総会の開催方法や活動方針について議論するため、８月 18 日（火）に役員会を開催し、総会については書面により開催すること、例年実施していた現場見学会やゴルフコンペ等の活動については、諸般の情勢を踏まえて実施の可否を検討することが決定しました。

結果として、会員が集う活動が出来ず非常に残念な結果となりました。

今後とも会員の支部への参加、現役学生との交流・就職支援など栃木支部の活性化を目指すとともに、会員の輪を広げ、芝浦工業大学の発展に寄与していきたいと考えております。

茨城支部

支部長　増山 栄　建築学科　昭和47年卒業

茨城支部の活動に際して、芝浦工業大学校友会より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

令和２年度の茨城支部総会は、令和２年12月５日（土）に水戸市の三の丸ホテルにて開催に向けて準備しておりましたが、第二回目の理事会において昨今のコロナ渦の状況を踏まえ、開催は中止となりました。本来であれば多方面からの方々をお招き致しまして、素敵な時間・空間をつくって頂くと共に、校友会の幅広い年代の先輩・後輩のコミュニケーションが活発に行われ、総会が盛大に盛り上がっていたことを考えると寂しい気持ちで一杯です。

来年度はこのコロナ渦の状況が収束することを願いつつ、今後の支部活動における会員の輪を広げた活性化の為に、1 人でも多くの方々の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、芝浦工業大学の発展に尽力致しますので、何卒ご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

群馬支部

支部長　青木 豊治　機械工学科　昭和57年卒業

群馬支部は、赤城山、榛名山、妙義山に囲まれ、関東平野の北に位置した故郷に 1500 名を超える卒業生が活躍しています。

今年度（令和３年）は、非常に残念ですが新コロナウイルスの関係で、３月６日の支部総会を書面会議の形式で開催いたしました。

昨年度（令和２年）の主な活動は、３月に支部総会中止、６月の全国総会参加中止、８月の親睦ゴルフコンペ及び暑気払い中止、10 月の工場見学や建築物見学会並びに懇親会中止と、すべての活動が新型コロナウイルス感染防止の観点から中止と致しました。今年度も、秋頃まで活動が出来ない前提で、幹事による Web 会議や会員の皆さんと Zoom によるコミュニケーションを企画し、校友の輪を広げる活動を進めたいと考えています。

結びに、来年（令和４年）３月の第１土曜日（2022 年３月５日）に群馬支部総会・懇親会の開催を計画しています。仕事の分野を超えて交流の輪を広げることを推進し、群馬県の出身者・在住者・群馬県で働いている方は、ぜひ一緒に交流をいたしましょう‼　下記の支部ホームページより Facebook アドレスへ行けますので、メッセージにて連絡ください。多くの卒業生のご参加をお願いいたします。

https://www.facebook.com/shibauraob/

埼玉支部

支部長　吉池 富士夫　金属工学科　昭和51年卒業

埼玉支部は域内に大宮キャンパスが存在するおかげで、大学とより密接な関係を築けます。私たちは校友会員に加え、在校生との積極的な繋がりも保ちながら、次の支部活動基本三指針に基づき運営しています。

1. 若い校友会員の参加を拡充

若い校友会員の参加を促し、老練な先輩たちとの融合による校友会活動を推進してまいります。とりわけ、若い校友へ寄り添う対話を心がけるなど、様々な場面での接点創りに取り組んでいます。

2. 開かれた校友会を構築

校友会活動は特別な人や限られた人が執り行うのではなく、同じ学舎を出たものが協働し、一緒に汗を流し運営してまいります。

3. 社会貢献を目指す

校友会は会員一人ひとりにとって意味のあるOB・OG会でなければなりません。それぞれの仕事での提携、趣味の交流等、全員が主役となる活動を展開し、最終的には社会に貢献することを目指しています。

一方で、令和２年度の支部行事は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から延期いたしました。例年、春夏に県内を“まちあるき”する会をはじめ、秋冬に大宮キャンパスを活用した支部総会の開催や父母者懇談会への参加など、多くの皆さんと共に活動をしています。

一日も早く再び顔を会わせて語り合える日が来るのを願っています。引き続き埼玉支部一同、埼玉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。

千葉県支部

支部長　金井 昭三　機械工学第二学科　昭和41年卒業

千葉県支部は平成16年に「芝浦会」、「千葉支部」、「成田支部」の３団体を統合した支部であり、現在会員数は180名です。

２020年度総会は幸いにも新型コロナ感染拡大前の２月に開催することができ、成田分会と柏分会を合わせて45名の会員が集いました。コロナ禍の2021年度の支部総会はウェブ開催となりますが、今年度は下記課題に取り組み、会員相互の親睦を深め支部活動の活性化を図ります。

1．会員の増員（校友会本部Webページや Facebookの活用による広報活動の強化）
2．分会を２ヶ所増やす「木更津・房総分会」・「船橋・市川分会」
3．若い世代、女性、家族で参加できるイベントの開催
4．親睦ゴルフコンペの開催（春４月、秋10月）

千葉県在住、県内企業にお勤めの方、千葉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。

東京総支部

支部長　谷川 潮　機械工学第二学科　昭和45年卒業

2019 年 12 月、中国武漢で発生した新型コロナ・ウイルス（COVID-19）が世界中を脅威に陥れ、日本もあらゆるイベントなどが自粛、中止、そして大切な東京総支部総会・懇親会が残念ながら中止になり、書面評決総会となり、加えて東京オリンピックパラリンピックも一年延期となりました。

大学は 100 周年に向けて種々の活動業務が進捗されております。呼応する形で当支部も会員の拡大を目標に、大学、後援会に対し協力する活動内容を引き続き進めています。コロナ禍で校友会を思うに「先達」の多くは、世のため、人のために生涯を捧げ、国内外における産業界などで貢献された方が多くおられます。企業などの第一線で活躍されている会員が学生の皆さんに最先端の技術や技術者の心構えを伝授する事をはじめ、「学生ものづくりプロジェクト」「グローバル人材育成」「トップアップ人材育成」など、このような支援の協力に取り組むことを更に加速する必要を感じました。是非ともこのようなプログラムに手を差し伸べる気概を持つ方はご連絡ください。

多摩支部

支部長　中根 眞行　工業経営学科　昭和55年卒業

校友会多摩支部は、昭和 47 年に校友会本部より東京都に 5 支部（中央、城東、城西、城南、多摩）設立の要請を受け設立した支部です。

支部の活動報告ですが、コロナ過に於いて昨年は年度内に計画していたイベント類は殆ど中止としました。その中で支部総会は書面による議事承認の形での開催とさせて頂きまました。

会員の皆様とお会いする機会がない中で出来る事としてメール会員を大幅に増やすことに力を入れ対応しました。今までメールアドレスを連絡して下さった方々を登録させて頂き現在では会員数も 150 名を超え大学・校友会・支部のトピックスや情報を都度お届けする事が出来ております。時々お礼の返信と共に近況を知らせて下さる先輩会員の声を励みに取り組んでおります。

今年度も会員相互の連携を密にし存在感のある支部を目指して役員一同取り組んで参ります。

神奈川支部

支部長　長井 義明　建築学科　昭和47年卒業

当支部の活動状況について、御報告させて頂きます。9年前から会員相互の親睦を図る為に、「地引網」を開催しています。例年、4月中旬、午前中に開催しています。参加人数は、小学生以下50名、大人100名で計150名参加されます。前回も晴天に恵まれ、魚の種類も異なりますが、多く獲れました。役員一同の協力で、盛り上がりました。来年も皆様の参加をお待ちしています。

又、支部総会を「横浜キャスルホテル」毎年、9月初旬に開催され、前々回の講演は、恒例1月2日第94回箱根駅伝で、関東選抜学生連合チームで矢澤健太（神奈川県庁勤務）さんにお願いし、芝浦工業大学として、初参加（1区区間）のエピソードをお話し戴きました。今年の第96回の松川雅虎さん（デザイン工学部2年生）が復路（10区間）を力走した姿でテープを切るのを見て感動しました。3年前の矢澤健太さんが1区間を力走した矢澤健太さんの応援した時を思い出しました。若い人が講演をして頂いて大変良かったと言う意見が多くありました。参加者は、50数名の地元の校友会メンバーと、校友会本部、近隣都県支部、大学、後援会、から来賓の御臨席を賜り、大学の現状や校友会と後援会の報告等、有意義な御話しを戴きました。

その後、懇親会には、毎年恒例になりました、卒業生の音一平さんにギター演奏をして戴きました。

校友同士の交流をして頂き、充実した時間を共有されました。

10月初旬、午前・午後と2回に別れ、江の島で神奈川支部主催のセーリングを楽しみました。午前中は、江の島から茅ヶ崎の烏帽子岩までと、午後は、江の島から葉山御用邸までのヨットでセーリングを楽しみました。参加者は、午前・午後で40名位。コロナウイルスが終息すれば、開催する予定です

12月初旬には、幹事会を箱根一乃湯で毎年恒例の忘年会を開催しています。神奈川支部は、海・山・温泉もあり、素晴らしい地域です。若い校友の参加を楽しみにしています。

新潟支部

支部長　臼井 静男　土木工学科　昭和48年卒業

新潟支部は、下越・中越・上越地区の3ヶ所に分かれています。

令和2年度は、コロナ禍のため活動できなかったため、前回の校友会だよりに記載できなかった令和元年の活動を報告します。

新潟支部総会は3地区より集まっていただき、毎年10月の第4土曜日に開催しています。

場所は新潟駅前のアートホールを使用しています。

令和元年総会に新潟県出身で電子工学科の教授本間先生を来賓としてお招きし、ご講演をいただきました。

総会終了後、懇親会を開き出席者の皆様と大いに飲んで大いに親睦を深め合いました。

長野支部

支部長　北村 武彦　建築学科　昭和45年卒業

ウイルス禍において、会員に高齢者が多い当支部にあっては、集合しての支部総会は回避すべきことから、書面方式による開催となった。総会後の新年懇親会が主たる支部事業でることから、寂しい限りである。

支部は県内を４ブロックに分け、分会を置く体制である。公共交通の状況がその理由であり、従って県下全域を対象とする事業の立案がむずかしい。母校・校友会事業にかかる寄附または人的協力、箱根駅伝にかかる寄附がその他の事業となっている。

各分会が創立された頃は、会員名簿登載者数は結構あるが、経年するごとに、総会への出席者は固定化し、会員の漸減が生じ始めている。

会に参加すれば、利殖がある、娯楽性が高い、社会的アピールやステイタス度がある、人的等情報が濃密であるなどのメリットが多大なら参加者が増大するであろうが、そんな会ではない。一部分だけでもその要素があればよいものか。アイディアはないものか。残るは母校への思いだけか。

上田会

諏訪会

山梨支部

支部長　渡辺 一郎　建築工学科　昭和46年卒業

今年度の支部総会は、新型コロナウイルス感染症対策で中止せざるおえない状況となり、これまでは、大学及び校友会本部より出席を賜り開催して参りましたが、来賓の方々の招待をできなかったことは非常に残念な思いです。

前年度は、依田幸秀様（校友会事務局長）を囲み、有意義な時間を過ごしました。しかし参加者も年々高齢となり、会員も減少傾向にあります。支部を盛り上げていくためには、20 代・30 代の若い方の参加が必然だと思いますので、一人でも多くの方のご参加を賜りたいところです。

令和３年度支部総会開催までには、この状況が終息していることを願いつつ、次回案内が届きました際には、是非ひとりでも多く方のご参加をお願いいたします。

富山支部

支部長　福井 幸博　電気工学科　昭和55年卒業　地域環境システム専攻　平成23年卒業

富山支部は創立 43 年目を迎え、登録会員数は約 540 名です。当支部は新型コロナウイルスの感染者が減少したタイミングに合わせ、細心の注意を払い、ご来賓として校友会加藤善次郎会長、石川支部多田哲則支部長にご臨席いただき、10 月 31 日に総会と懇親ゴルフ大会を開催しました。

懇親ゴルフは、秋晴れの中、太閤山カントリークラブにおいて富山支部会員に隣の石川支部会員２名を加え、合計 13 名が参加して行われ、外出自粛による運動不足も解消でき元気になりました。優勝は富山支部：谷井和之さん（S53 金属卒）が、昨年に続き連覇されました。

ゴルフ終了後は富山電気ビルディングに会場を移し、13 名が参加し定期総会を開催しました。特に加藤会長から、校友会及び大学の施策等をご説明いただき、参加者一同、心強く、嬉しく感じました。

富山支部では、校友との広いネットワークを構築し豊かな人生を手に入れることと、校友会及び母校の発展に寄与する活動を進めていきます。

石川支部

支部長　多田 哲則　建築学科　昭和54年卒業

令和２年はコロナ禍で活動がほとんどできず、非常に残念な年になってしまいました。

石川支部にとって令和２年は支部創立 50 周年の節目の年にあたり、７月に学長及び校友会長を来賓にお招きし、学長の記念講演を含む記念式典を支部総会に合わせ開催する予定でした。しかし新型コロナウイルス感染の広がりにより、総会及び記念式典を開催できる状況ではなくなり、総会は書面審議、記念式典は翌年に延期せざるを得なくなりました。一昨年秋より準備を進めてきただけに残念でなりません。ただ嬉しいこともありました。書面審議における議決書に多くの方が激励や応援の言葉を書き込まれ、大先輩からわざわざ電話を頂き激励されました。何もできなかった年だけに胸が熱くなりました。

今年はコロナ禍の収束を見越し、時期を秋にずらして総会及び記念式典を開催する予定を立てています。世の中が平穏を取り戻し、無事開催できることを願っています。

福井支部

支部長　永井 弘明　建築学科　昭和53年卒業

今年は殆どの活動がコロナ禍で中止せざるを得ない中、福井県では感染が落ちついた時期でもあったため、7月25日福井駅前のレストランで総会を開催できた。感染者が増加している東京から大学、校友会の来賓をお迎えすることは出来なかったが、富山支部長の福井さんには福井支部の会員にもなっていただき参加いただけた。高齢の会員の参加は少なく8人の参加となった。

会議では例年行っている県下の高校に訪問して受験を促す活動について、時節柄中止することに決定した。また、新年会も第3波の状況もあり中止と判断した。富山支部長の福井さんからのお誘いもあり、校友会会長　加藤善次郎氏と懇談させていただく機会を頂けた。今年の総会には多くの会員と顔を合わせることが出来ることを祈っている。

岐阜支部

支部長　平井 良樹　工業経営学科　昭和57年卒業

この度のコロナ禍では会員の皆様におかれましては、大変な状況のことと拝察申し上げます。一刻も早い平常復帰を心より望むものです。

さて、岐阜支部では、支部総会を毎年7月第3週土曜日に開催することにしていますが、2020年は残念ながら支部総会は開催が叶いませんでした。

例年では、現役多治見市長の古川氏をはじめとして、毎年20名前後の方にご参加いただいており、毎年少しずつ増えてきています。

支部総会は毎年、岐阜市で開催していますが、今後は飛騨市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境を整えて行きたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深めることにより、さらに有意義で充実した支部にしていきたいと考えておりますので、支部総会案内が届きましたら是非ご出席で返信していただきたく思います。

一人でも多くの参加をお待ちしております！

静岡県同窓会支部

支部長　鈴木 和幸　土木工学科　昭和50年卒業

令和２年度の第 43 回支部総会を６月に開催予定していましたが、コロナの影響により郵送による議案承諾となり、年１回の支部会員の皆様との懇親会が開催されなかったことは残念であります。

例年６～７月に開催している支部総会を、本年に限り秋の開催で計画しています。コロナの終息が見えきれない中、少しでも開催の可能性を探り計画の練り直しをしている最中です。この場を借りてお知らせします。

令和元年度の第 42 回支部総会は７月６日に開催し、来賓７名と 30 名弱の会員が集まり、支部総会及び懇親会は盛況に行われ、恒例の講演会も、皆様の知識を深めたことと思います。

また、大学主催の「ロボットセミナー in 静岡」も令和元年度で終了し、芝浦工業大学の名を静岡県に広める催しも今後検討していきます。

静岡県関係者の方で、当支部の活動に興味を持たれる方は是非ご連絡をお待ちしています。

昨年、支部のホームページの改訂を行いました。新しいアドレスは、下記の通りです。一度覗きに来て下さい。
http://sit-shizuoka.sub.jp/

愛知支部

支部長　榊原 周造　建築工学科　昭和45年卒業

2020 年（令和２年）度の愛知支部活動の流れを報告させていただきます。2020 年３月に校友会事務局より６月開催予定の「全国総会懇親会」中止の案内届きました。

当支部においても７月開催予定の支部総会中止を決定し、校友会事務局および総会開催予定会場への支部総会中止を報告しました。総会開催予定会場「キャッスルプラザ」より、キャンセル料発生の連絡ありありましたが、後日今回はキャンセル料が発生しない旨連絡を受け一同安堵しました。

今年度の支部総会において審議予定の 2020 年度愛知支部総会（案）作成のため、監査役矢澤氏、北川氏より監査を受け 2020 年度愛知支部総会での審議事項をメールにて配信して承認を得ました。

７月には校友会事務局から届いた全国総会資料を役員および会員に配布しました。また、例年５月に開催の第 52 回愛知支部芝浦会ゴルフコンペを 11 月 23 日（月）祝日、有志 10 名参加が参加して東名古屋カントリークラブにおいて開催しました。

2021 年（令和３年）度の予定は、今の所コロナ禍により未定です。新型コロナが収束しましたら校友会活動を開始しますので、新会員や転勤等で県内に在住の方におかれましては是非声を掛けて下さい。

E-mail：info@garden-g.com　榊原までよろしくお願い致します。

広島支部

支部長　川本 勝一　建築工学科　昭和49年卒業

広島支部は 1982 年に発足し、皆様のお蔭で今年度設立 40 周年を迎えます。

まずは昨年度の主な事業活動内容を紹介いたします。第 39 回定期総会は新型コロナ感染防止対策のもとで例年の半数、出席者 30 名で開催いたしました。

ただし、総会後の恒例の懇親会並びに備後分会は、残念ながら取止めとなりました。それとイベント活動もご多聞に漏れず例年通りとはいきませんでしたがゴルフ 1 回、釣り 1 回、囲碁 3 回、ハイキング・登山 1 回を開催いたしました。

今年度は支部創設 40 周年にむけて、中長期支部イメージ「多くの会員 & 豊富な実績で存在感のある広島支部の確立を目指す」をもとに、①「定期総会に継続可能な出席者を獲得し、持続的成長可能な支部づくりを行う」、②「会が目的とする会員相互の親睦を図り、モチベーションを高める仕組みづくりを行う」。

これを会員一丸となり“静穏精進に敵は無し!”、更なる支部の発展を目指します。

芝浦工業大学校友会広島支部第 39 回定期総会・二次会

第 25 回芝浦工業大学校友会広島支部ゴルフコンペ

山口支部

支部長　福田 隆行　土木工学科　昭和50年卒業

コロナ禍の中、6 月の校友会全国総会が中止となり、待ちわびた東京オリンピックも 1 年延期、甲子園や各種総会も軒並みに中止となるなか、今年の支部総会の開催は難しい判断を伴う事態となりました。

そこで、会員の安全確保を最優先事項とし、開催地の山口市でクラスターが発生したら即中止することとして準備を進めましたが、幸い山口県では感染者が数名程度で推移していたので開催することができました。

11 月 14 日の土曜日、快晴の山口泉水原ゴルフクラブで親睦ゴルフコンペを行い、その後湯田温泉の翠山荘において、3 蜜対策、換気、十分なソーシャルディスタンスを確保のうえ、総会と懇親会を開催しました。

総会も小声で行い、懇親会も静かにと配慮しました。最後の校歌斉唱についても、CD に合わせて小さな声で歌いました。とても違和感満載の会でしたが、大変楽しい 1 日とすることが出来ました。参加下さった会員の皆様には大変感謝しています。

多くの仲間と旧交を温め、拳を振って校歌を歌える日がくるのを楽しみに、1 日も早くコロナ禍が終息するのを願うばかりです。ワクチン接種も始まりました、もう少しの辛抱です、頑張りましょう。

香川支部

支部長　田岡 哲也　金属工学科　昭和57年卒業

香川県は、四国の支店所在地でもあるため、転勤等で来県された方､美しく穏やかな瀬戸内海で獲れた小魚で、一緒に酒を飲み､〆に「さぬきうどん」をたべましょう！
是非、ご一報ください！

下の写真は、2019 年 4 月 20 日（土）にリーガホテルゼスト高松にて開催された校友会香川支部第 13 回総会時の懇親会の写真です。

2019 年 4 月 20 日（土）校友会香川支部第 13 回総会　懇親会の写真
リーガホテルゼスト高松　にて

徳島支部

森山 清二　工業化学科　昭和47年卒業

徳島支部は毎年 6 月に定時支部総会を開催しておりますが、昨年はコロナ過にて中止となりました。例年 20 人～ 30 人の参加者の顔ぶれが定着化しており、今後少しでも参加人員を増やすことが我々の責務と努力を惜しまぬ所存です。またゴルフ懇親会は四国四県で開催され、毎年幹事を持ち回りで行っています。私も参加させていただき、高知大会時は絶好調で優勝させていただきました。近年はコロナ対策のため中断いたしております。

ただコロナ対策で考え出した事は、宮崎氏が LINE にて校友会広報を連絡するようになりました。現在 15 名が参加登録いたしております。今年支部長佐藤氏が第 97 回箱根駅伝に関東学生選抜メンバーとして松川さんが出走されることを報告いただき全員で TV にて応援させていただきました。今後も LINE にて連絡させていただくことは、若い会員の参加を進めていく上で、とても有効と思われます。

またリモートといえば、私個人的に 47 年卒工業化学科有志は毎月 ZOOM にてリモート同窓会を行っています。全国各地の同窓生の現況、話題を 90 分程度の情報交換をしています。今後とも徳島支部へのご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、母校並びに校友会の益々のご繁栄を祈念いたしております。

愛媛支部

支部長　児山 均　機械工学第二学科　昭和49年卒業

愛媛支部の支部長をしています、四国中央市の児山均です。例年は、５月に支部総会、８月にビアホール例会、年末年始に忘年会又は新年会をしていました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で何も実施していません。今回、第 26 号芝浦だよりの原稿を頼まれ今後の活動方針を計画し、過去の支部活動の写真を掲載して、愛媛支部の報告と致します。

４月に松山市で５名以内の役員会を開き、今後の活動を計画したいと思います。又、今治市出身の芝浦工業大学名誉教授の菅和利先生から支部総会で講演をしたいと昨年メールがございました。

菅先生は、「日本水フォーラム」の副代表理事をされており、「アジア太平洋水サミット」の講演をして下さるそうなので、コロナが終息すれば実施したいと思います。

現在、支部総会に出席して下さる会員が減ってきているので、参加して下さりそうな卒業生がおられましたら支部長まで連絡して下さい。

高知支部

支部長　依光 成元　建築工学科　昭和56年卒業

コロナ禍により大変な思いをされている校友会の皆様、先の地震等で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

高知県においては、コロナの感染者数がやっと沈静化しつつありますが、昨年度は総会、忘年会等の恒例事業は全て中止となってしまいました。本年度も総会を書面で行う事が決まっています。直接先輩方のお顔を拝顔できない事は、非常に残念な思いです。

しかし巣ごもり中の運動不足解消のため、親睦ゴルフの開催については、今春も開催の運びとなりました。

県内からの受験者数の減少や卒業生が地元に帰って就職できない状況の改善について、校友会として対策を考えねばと思います。（公財）建築技術教育普及センターの HP を見ますと、大学卒業の学歴を受験資格とした一級建築士の合格者数は、芝浦工大は全国で三番目に多い様です。優秀な後輩の成果等を発信しながら本年度も地道に活動を続けて行きたいと思います。

大分支部

支部長　平井 寛行　通信工学科　昭和52年卒業

令和２年４月１日付けで大分支部長を拝命いたしました、平井 寛行と申します。今後ともよろしくお願いいたします。

令和２年２月新型コロナウイルスが発生して１年が経過しました。その中での校友会活動も制限され休止状態でしたが、令和２年度の支部総会の開催について感染防止に注意をして８月に役員が集まりました。その後10月になってもこのような状況が続くこととなり支部総会の中止と書面による決裁を行うこととし、ハガキにより校友会会員に通知をいたしました。

ワクチン接種が始まり早期に普段の生活と校友会活動が出来ることを期待するばかりです。このような中、地元新聞に卒業生２名の方がそれぞれ地元で活躍する記事が出ていました。このような情報を元に今後の活動の一環としての校友会会員拡張に努めたいと思います。

最後に全国の校友会会員様の健康と御活躍を祈念いたします。

福岡支部

支部長　角 敬之　工業化学科　昭和45年卒業

関東学生連合チームに選抜されて最終区10区を託されたデザイン工学部２年の松川雅虎君の区間第６位の走りに感動いたしました。“おめでとう”とともにお疲れ様でした。

予選会のタイムを見ると47分短縮したにも係わらず前回と同じ31位だったことを思うと全校のレベルアップを感じます。駅伝部本選出場を目指して頑張ってください。

校友会本部から松川君が学連選抜10区アンカーとして走るとの連絡を受け、支部役員に報告し、皆でテレビの前で応援することを確認しました。

正月の楽しみの一つである箱根駅伝が、今年は松川君の走りに期待するワクワク感で今年は例年にない熱いまなざしでのテレビでの観戦応援となりました。

全区間･全選手のタイムを纏めるとともに各区間の区間賞タイムとの比較等の一覧表作り校友会本部へも報告しました。

昨年はコロナに終始した１年でした。

福岡は、２月20日最初の感染者が確認されました。２月末には、３月１日から小中高の一斉前倒しの春休み休校宣言が出されたことを受けて、３月29日開催予定の支部総会に向けての役員会を急遽中止することにしました。

役員の多くは、65歳以上の高齢者なので、特に、感染防止には十分な注意と慎重な対処が求められていることから、その後一同に会する事ができずに今日に至っております。

校友会本部から発信された卒業生評議員の選出の件、全国総会の書面評決の件、父母懇談会WEB形式での開催の件等々の連絡を受けるたびに事務局長にメールの転送を行い、電話でその対応を協議するといった活動にとどまっております。

各年度の卒業生名簿追補版を受け取り、福岡県内関係者一覧表を作成し、連絡を取り支部への参加を呼びかける声かけを行なっております。

宮崎支部

支部長　長池 正恕　電子工学科　昭和50年卒業

日向灘や九州山脈に囲まれた宮崎県はアウトドアが盛んで、フィッシングやサーフィン、ゴルフ、キャンプなど豊かな自然を満喫できるのが魅力です。

ワーク・ライフ・バランスが見直されている昨今、都会からの移住者も増加しつつあります。会員数29名と小さな支部ではありますが、温暖な気候に恵まれ元気に活動しています。毎年の定期総会時には、昼はゴルフ、夜は地元の焼酎を片手に海の幸や山の幸を堪能し、親睦を深めています。

会社の人事で異動される方や定年後に移住を考えておられる方は、ぜひ入会をお願いします。

熊本支部

支部長　永田 昂生　土木学科　昭和42年卒業

令和２年の年明けから新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、校友会の活動もままならない状況であり、令和２年度は熊本支部定時総会をはじめその他の行事を中止にさせていただきました。定期的に開催していた役員会は、小人数ではありますが、辛うじて７月と12月に開催し、12月は熊本支部の会計状況の確認を行っています。次年度に改めての報告を予定しています。

また、平成28年の熊本地震から５年が過ぎ、復旧・復興が進んでいる中、令和２年７月には球磨川流域を中心とする豪雨災害と未曽有の災害が続きました。球磨川沿いを走るJR肥薩線の鉄橋がことごとく流失した姿を目の当たりにし、被害の甚大さを感じています。改めまして、被災された同窓の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

令和３年度は、熊本支部総会・懇親会が開催できることを祈念し、皆様に再会できます事を役員一同楽しみにしています。

令和元年度熊本支部総会集合写真

佐賀支部

支部長　山田 清人　通信工学科　昭和48年卒業

佐賀支部はコロナ禍の影響で定期総会は中止にしました。会員が集まって懇談することが難しい中、11 月に役員会を開き、近況など情報交換を行いました。

1 月に行われた箱根駅伝では、校友会会員はテレビにくぎ付けになりました。特に 10 区を走った松川君のナイスランは、多くの人が感激したと思っています。

コロナが落ち着き、一日も早く学園生活が正常に戻ることを願っています。

写真は令和元年の支部総会集合写真です。

長崎支部

支部長　藤本 博文　工業化学科　昭和61年卒業

ここ数年、長崎支部の総会を開催するにあたり、支部長である私が長崎市民のライフラインに関わる仕事に従事しているため、自然災害が多くなる時期の回避や今年度の新型コロナ発生により、開催のタイミングを逃してしまうことが多々ありました。このままの状況では、長崎支部としての活動が停滞してしまうことが、予想され大変危惧される問題です。総会以外での活動の一環として、長崎支部が入るビルの入口に設置したモニターに、芝浦工業大学の PR 動画を流す計画を実行に移しました。

ここで使用している動画は、校友会本部を通じて本学より提供していただいた動画です。

この動画を表示するために、パソコンの起動等の自動化とともに、デジタルサイネージソフトで、小中高生の通学時間や休日の昼間に重点的に流れるようにスケジュールを管理調整しました。

より多くの方々に芝浦工業大学が周知され、長崎から進学する学生が増えることに貢献できたらと思っています。

鹿児島支部

支部長　小薗 定夫　建築工学科　昭和48年卒業

校友会の皆様には会の運営など、さぞかしご苦労されているものと存じます。

鹿児島支部長の小薗です。かく申す当支部（芝鹿会）も、昨年度来コロナ感染症を懸念して会合等を自粛しており、さしたる支部活動の運営も出来ないまま１年間が過ぎ去りました。

そのような中、支部の大きな目標のひとつとして、支部会員の仲間を増やすことが有ります。昨年度も、本部から送付頂いた『校友会会員名簿：追補版』の冊子をもとに、現住所が鹿児島県と記載されている３名の方に、県内在住ならば音信が欲しい旨を連絡しました。その際、ご本人の卒業学科等を参照して鹿児島県内で活動されている芝工大卒業生先輩の事を付記して、鹿児島支部への勧誘を試みました。生憎、現在迄連絡は有りませんが、郵便物の返却が無い事を思うに、郷里なり掲載先には届いているものと考えております。今後も校友会会員名簿の活用を図っていきたいと考えております。

コロナ感染症が早く沈静化し face to face で会員相互が心配なく集える日が待ち遠しいと支部会員で話しています。どうぞ皆様方、くれぐれもご自愛下さいますよう。

沖縄支部

支部長　仲西 聰　土木工学科　昭和56年卒業

穏やかな日ざしにいつしか春の訪れを感じる季節となり、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

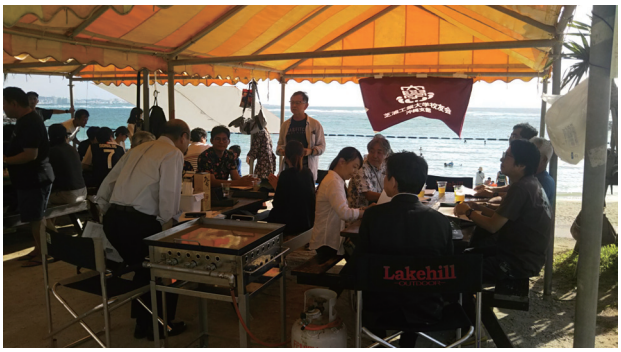
校友会沖縄支部は、会員数が 70 名あまりで常時参加者は 10 ～ 15 名の小さな組織です。また本学の新卒業生も沖縄地元の出身がほとんどいない状況ですので、会員の増加はなかなか見込めないのが現状です。

さて、沖縄県の近況は、全国と同様に新型コロナウイルス感染症の第３波が広がっており、昨年同様に観光業、飲食業から関連業種においても大きな痛手を受けている状況です。感染者は常に日本のワースト５に入るような状況で、長期化は計り知れない結果をもたらす事と懸念しています。

このような状況の為、昨年の活動はすべて中止となりました。今年も未だに計画が立てきれておりません。

下記の写真は、一昨年の支部総会･懇親会は、「コミュニケーション大事！」と「参加して楽しい！」をキーワードにしようという事で、ビーチで開催した時の模様です。

これからも色々と工夫を凝らして沖縄支部の存続を維持して行きたいと思います。



上海支部

支部長　原 潤　工業化学科　平成8年卒業

上海支部は 2016 年 1 月に設立し、6 年目を迎えました。上海～蘇州を中心とした、中国華東地区在住の OB/OG で構成しており、定期的な活動を実施しております。

2020 年度はゴルフコンペ活性化の為、優勝カップと会旗を用意してコンペを盛り上げました。

4 回の総会実施により正式な支部旗授与を現在申請中です。また、恒例となった「芋煮会」では、OB/OG の交友関係者や本場上海山形県人会の皆さまとともに、共同開催しながらイベントを盛りあげています。

また、有志での飲み会や上海校友会の OB/OG が上海へ来られる際はそのスケジュールに合わせて会食を開催したり、日本 - 中国間でオンライン飲み会を行うなど、たいへん仲の良いメンバーです。

情報共有をおこないながら、楽しい中国生活が送れるコミュニティとして活動しておりますので、中国華東地区へお越しの際は是非ともご連絡を戴ければと思います。

シンガポール支部

支部長　長尾 剛　建築工学科　昭和61年卒業

シンガポール支部は、2013 年 12 月に設立、今年で丸 7 年目を迎えることとなりました。2019 年 9 月には校友会本部よりシンガポール支部旗を頂き、同じ頃シンガポールの工事現場にインターンシップでお越しになっていた土木工学科 3 年（当時）の荻野さんを囲んでの夕食会を催した際、会員の皆様にお披露目をすることができました。

2020 年末時点での会員数は 25 名。シンガポールに、東南アジアの統括部門を置く企業もあり、近隣諸国を飛び回っている会員の方や近隣のマレーシアにお住まいの方など、さまざまな会員の方がいらっしゃいます。

今年度はシンガポールも新型コロナウィルスの影響で、2020 年 4 月 7 日から約 2 ヶ月間外出自粛、在宅勤務奨励、集会制限等のサーキットブレーカーがありました。その後 3 段階の緩和措置を経て経済活動はほぼ再開されています。しかし、シンガポールへの入国や会食時の人数などの制限は未だ残っており、今年度は支部としての活動が出来ませんでした。政府が接触者追跡アプリを駆使するなどして市中感染者数は抑えられ、2021 年 2 月からはワクチン接種も始まりました。2021 年秋以降には会員の皆様が集まれる機会を設けることができればと期待しております。

＜2019 年 9 月 25 日（水）Ishinomaki にて行った荻野さんを囲んでの夕食会＞

MOT同窓会支部

支部長　西河 洋一　大学院工学マネジメント研究科　平成21年卒業

「芝浦工業大学校友会 MOT 同窓会支部（https://sit-mot.org/）」は、2005 年に設立された「芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科同窓会」を前身として、2011 年に設立されました。正会員である MOT 修了生は 266 名です。2019 年 3 月に大学院工学マネジメント研究科（MOT）が終了してからは、芝浦 MOT が目指した「技術経営」の精神を絶やさないために以下の目的で活動しています。

①多様な人財とのディスカッションを通じた会員のリカレント教育的な場の提供
②多様な人財の交流によるビジネスネットワークの維持・拡大
③会員の学びを社会に発信するプラットフォームとして MOT の精神の存続

2020 年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響で思うような活動ができませんでした。そのような中、例年 6 月開催の本支部総会を延期して準備を整え、2020 年 11 月 26 日にオンラインで開催をいたしました。オンライン総会には 19 名の参加者があり、支部総会と特別講演会をいたしました。その他、大学と連携した公開講座などの活動をしています。

オンライン支部総会の様子（2020.11.26）

機械工学科同窓会支部

支部長　髙木 光一　機械工学科　昭和48年卒業

本支部は、校友会唯一の学科同窓会支部として 2012 年に設立されました。

機械工学科同窓会としての活動は、昭和 47 年頃から定期総会を開催するなど、活動を進めてきました。昭和 50 年代からは、会員相互の親睦を図るとともに、芝浦工業大学機械工学科のよき伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、同窓会会報の発行、同窓会総会、幹事会、講演会、親睦会、懇親会などの事業を行っています。

2020 年はコロナ禍の中、会報の発行を中止するなど主な活動を休止しました。支部総会は書面での開催とし、約 400 名の同窓生へ議案書を送付、約 200 名から承認の返信はがきを受領、すべての議案が承認されました。

大学や在校生との交流も大切にしており、PBL（問題解決型学習）授業の発表会では、ANA に勤務する同窓生がリモートでの特別講演を実施し、卒業生へのアドバイスを含めて、業務案内、活動状況、個人生活などを紹介しました。毎年贈呈している卒業記念品は、先生方のお手を借りて、今年も卒業生へ手渡しできました。

英交会支部

支部長　篠原 俊正　金属工学科　昭和54年卒業

このたび第 56 期総会におきまして新たに英交会支部長を拝命致しました。もとより、浅学非才の身でありますので今後とも皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

英交会は浅野昌宏前支部長のもと、特に現役学生との交流を積極的に展開してまいりましたが、昨年から今年にかけての新型コロナ感染拡大により、ほぼ全ての活動自粛を余儀なくされております。

英交会の課題のひとつは役員の高齢化に伴う会の事業承継です。幸い今年度より若くフレッシュな会員 2 名が役員に就任しましたので、彼らを核に若い方々に英交会の事業参加を訴求してまいります。

コロナ禍の大変厳しい中での就任となりましたが、今後も変化し続ける社会情勢に慎重かつ柔軟な対応をしつつ、*New Normal* として WEB による現役との交流会や情報交換会、会員による講演会の開催など、英交会の活動をより闊達に展開してまいる所存でございますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

第 55 期総会時記念撮影（第 56 期は WEB ＋書面議決のため画像無し）

黒潮会支部

支部長　岡野 浩一　建築学科　昭和58年卒業

空手道部 OB 会黒潮会は平成 13 年 12 月に校友会支部臨時総会を開催し平成 14 年度黒潮会支部としてスタートし今年で 20 年目を迎えます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の発生により今を生きる人類には全く未知の一年となりました。学生部員の練習は後期より再開されましたが、年末には第二波拡散で中止を余儀なくされました。

黒潮会支部としてもこのような状況下で集まることも叶わない状況であり 12 月 25 日、支部総会を議案郵送・議決ハガキにての回答という初めて書面での総会を開催いたしました。81 名の承認をいただき無事に終えることができました。地方在宅の方は書面での総会開催により、多く方々に参加いただけたことは良かったと感じています。

今年は新型コロナウイルス感染症が収束し一同会する総会を開催し、現役学生との交流も図れることを願っています。

黒潮会支部として相互交流を図り一人でも多くの OB が集まる支部になるよう努力します。今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。

二部ワンダーフォーゲル部OB会

支部長　伊藤 孝夫　二部機械工学科　昭和51年卒業

昨年１月からの新型コロナウィルス感染拡大に伴う、緊急事態宣言の発出などにより、不要不急の外出を控えるようにとの東京都から要請もあり、毎年６月に行われていたOB会総会を延期せざるを得なくなりました。また、毎月一回の定例会も自粛することとなりました。会の活動が停止状態でしたが、一回目の緊急事態宣言が解除された後、計画していたキャンプ＆フィッシングを11月に実施することが出来ました。また、延期となっていた総会は、ハガキによる決算報告や活動報告などについて採決を行い、承認されました。

毎月一回の定例会もパソコンやスマートフォンによる、リモートミーティングを11月から始めました。利点としては、海外在住の会員も時差は有りますが参加することが出来るので、海外の情報なども交換することが出来るようになりました。新型コロナウィルスに負けずに活動を続けて行きたいと思います。

錬心会支部

支部長　飯島 敏春　機械工学科　昭和54年卒業

芝浦工業大学剣道部は創部60周年、校友会錬心会支部として承認をいただいてから12年を迎えました。

コロナ禍ではありますが、令和２年２月28日に校友会倶楽部にて支部総会を開催以来、できる限りのＯＢ会活動及び学生への支援を行っております。

剣道は年齢を問わず行える武道です。例年は学生と春夏の合宿や年３回の合同稽古にて共に汗を流しております。

支部長	飯島　敏春	機械工学科	昭和 54 年卒業
副支部長	筋野　豊司	機械Ⅱ学科	昭和 56 年卒業
副支部長	福本　宏昭	機械工学科	昭和 56 年卒業
幹事長	鶴　　崇	建築学科	昭和 46 年卒業
会計監査	大久保勝示	建築学科	昭和 47 年卒業
会計監査	新井　憲法	工業経営学科	昭和 61 年卒業
事務局長	島田　恭史	機械工学科	昭和 59 年卒業

2020 年 2 月 28 日支部総会

2020 年 11 月 28 日合同稽古・幹部交代

柔道部OB会支部

支部長　早川 金光　建築学科　昭和51年卒業

芝浦工業大学柔道部は「全日本理工科学生柔道優勝大会」が毎年６月講道館にて開催される大会で、全国の理工科系大学柔道部の学生が日本一を目指して戦う試合です。我が芝浦工業大学は過去に７連覇と３連覇の合計 10 回優勝を成し遂げるという実績があります。

また、「関東理工科４大学大会」にも東京理科大学、日本工業大学、東洋大学工学部と我が大学を入れた４大学が毎年６月と 12 月に集まり優勝を争ってる大会があります。

その他にも参加している大会がありますが、昨年はコロナの影響で全ての大会が中止となり、部員はその力を発揮する機会に恵まれませんでした。現在７名という少ない部員ですが、それでも OB が時間を作っては練習に参加して、充実した練習を続けております。

令和元年の OB 会出席者

芝浦技術士会支部

支部長　鯨井 武　通信工学科　昭和54年卒業

芝浦技術士会は、会員数 253 名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学別の組織です。今年度は、コロナ禍の影響ですべての活動がウェブ会議方式で行われました。

現在の主な活動は、生涯学習講座として開講している「技術士試験対策講座」と、技術士の継続研鑽に繋がる技術士フォーラムの開催です。技術士は、「技術士法」に定められた国家資格であり、一次、二次試験に合格する必要があります。　芝浦技術士会は、講座を通じて受験者を支援すると同時に、講師と受講生のコミュニケーションを通じて生涯現役技術者へ向かった価値の共有も学んでいただいております。また、芝浦工業大学の地域連携活動へ参加し、地域創生に寄与すべき活動も取り組んでおります。商工会議所を通じた地域企業の支援活動も進めております。芝浦工業大学と校友会会員の皆様方とご一緒に、日本の技術、産業界を共に考え、一歩ずつ継続的に改善していくことを目指しています。

硬式野球部ＯＢ会支部

幹事　森本 静　工業経営学科　昭和50年卒業

2020 年硬式野球部 OB 会支部は 10 月に OB 会会報を配布しました。例年ですと、この会報に総会開催案内と総会への出欠はがきが同封され、総会開催の手順となります。しかし、今回は新型コロナウイルス感染症拡大による行動自粛等の問題も有り書面開催としました。会報配布数は約 300 通。全員による書面参加ですと集計も大がかりとなるので、過去 5 年間にさかのぼり総会出席された 42 名の方に参加を頂く事としました。また、42 名以外での参加希望も募りました。結果、32 名の方からの参加があり無事に総会が成立いたしました。野球部においては、春期リーグ戦は中止。秋期リーグ戦は勝ち点制を取らず各校と 2 試合勝率制で順位を決め入替戦はなしとなりました。2021 年末に開催を予定する硬式野球部 OB 会支部総会は、コロナウイルス感染症が解消されて一人でも多くの OB の方との再会を楽しみにしております。

TBT（鳥人間）OB・OG同好会支部

支部長　安保 知佳　通信工学科　平成26年卒業

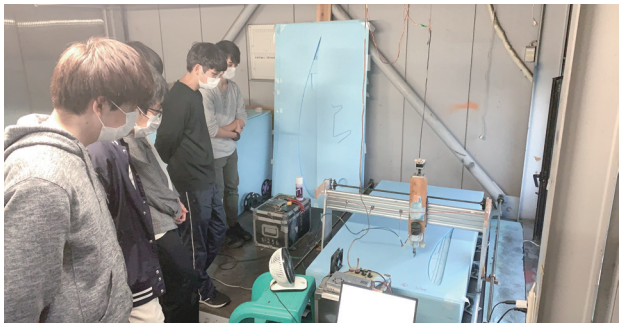
TBT（鳥人間）OB・OG 同好会支部は、人力飛行機を製作するサークル Team Birdman Trial（以下、TBT）の卒業生による校友会支部です。

新型コロナウイルスの影響で、校友会の活動が行えていないため、現役の学生たちのサークル活動について紹介します。新型コロナウイルスの影響による大学からの要請により、TBT は、2020 年 2 月下旬より停止していた飛行機製作を 2020 年 9 月下旬より再開しました。

通常、7 月の大会に向けて 9 月より飛行機の制作を開始するため、2020 年は飛行機の完成には至りませんでしたが、昨年の想いを引き継ぎ、飛行機の製作を進めています。

最近の緊急事態宣言でも活動が停止していたため、製作スケジュールが厳しく、コロナ禍の制限がある中、チーム一丸となって工夫を凝らして飛行機製作に取り組んでいます。

校友会支部としては、今後も彼らの活動を支援していきたいと思っています。



ハンドボール部OB会支部

支部長　井出 恵尉　工業経営学科　昭和47年卒業

ハンドボール部 OB 会支部は 2014 年 6 月に発足しました。会員の皆様におかれましては、毎年開催されています総会、懇親会で昔の仲間との再会を楽しみにしていた方も大勢いらっしゃることと思います。しかし令和 2 年度の総会は、大変残念ではございますが新型コロナ禍の状況を慎重に考慮して 10 月に幹事だけで総会決議のみとさせて頂きました。

現役の部活動ですが、今年は多くの制約がある中、日頃の練習成果を発揮して、4 部秋季リーグ戦を全勝で優勝しました。（春は中止、秋は 5 校の参加）この春には多くの新入部員を迎え入れ、さらなる活躍に期待し、ますます応援や支援にも力を入れていきたいと思います。

今年の総会は令和 3 年 10 月頃に予定しています。新型コロナも終息し是非また皆様と再会できる日を楽しみにしています。OB の皆様へは、詳細が決まりましたらご案内させて頂きますので一人でも多くの参加をお待ちしています。

ソフトテニス部ＯＢ会支部

支部長　早川 昇　建築学科　昭和43年卒業

私共、ソフトテニス部 OB 会支部は、平成 26 年 6 月に発足致しました。母体の OB 会は創立 55 年を迎える事が出来、会員数は 251 名となりました。会員からは全日本選手権優勝、準優勝者も輩出致しております。

私共 OB 会支部も、2020 年は我慢、自粛の年でありました。54 年間続けてこられた総会開催も中止を余儀なくされ、総会中止の連絡と会計報告を何とか発送できた次第であります。未だ先行きは見通せない状況ではありますが、本年は何とか総会開催にこぎ着けたいと検討しているところであります。

添付写真は、2019 年、芝浦キャンパスでの総会写真であります。この様な現役学生諸君との交流、援助が再度出来る日を改めて待ちたいと思います。

今後も支部及び校友会の発展に、寄与出来るかを模索してゆく所存であります。

ヨット部OB会支部

支部長　柴田 真利　工業化学科　昭和59年卒業

芝浦工業大学体育会ヨット部は現役活動もOB会活動も昨今のコロナ禍で止む無く縮小せざるを得ない状況ですが、このような制約がある中でも創意工夫と諸兄のご協力を賜り、何とか遣り繰りして活動を継続させて頂いております。諸々の会議や、OB総会、納会、追いコンといったイベントに関しても、全てWEB上にて予定通り開催しております。

未だコロナ終息の先行きが不透明な中、厳しく限られた状況で奮闘する現役部員が有意義な活動を送れるよう、引き続きOB会一同で支援し盛り上げていければと考えております。最後になりますが、大学並びに校友会の発展に寄与できるよう努めてまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。

（掲載の写真は、現役の活動状況とコロナ禍前の2019年夏・江ノ島でのOB総会の写真です。）

スキー部OB会支部

支部長　小川 博司　工業経営学科　昭和45年卒業

当スキー部OB会支部もコロナ禍により二年間総会を中止にしております。振り返り見ればこの二年間でいろいろな事が起こりました。当スキー部OB会支部は、平成27年より校友会として仲間入りさせていただき今日に至っております。

平成30年7月にスキー部OB会創立60周年を開催いたしました折りには、故五十嵐理事長はじめ、鈴見校友会会長（現理事長）、野口常務理事にご出席いただき創立記念に花を添えて頂いた事などが思い出されてきます。

故五十嵐久也氏は北海道出身と言う事もあり、スキー部OB会総会には必ず出席され、同期生やその時代に活躍されたOB諸氏と懇親を深めておりました。

今はその五十嵐氏も故人となり、今後のOB会総会に出席されないと思うと改めて寂しい気持ちになります。

前述のようにコロナ禍で二年間総会を開催しておりませんが、来年には総会を開催し、OB会員全員で黙とうをもって敬意を表したいと考えます。

終わりになりますが、各支部の皆様、どうぞご健康で過ごされる事を祈念して止みません。

＜芝浦工業大学校友会　スキー部OB会支部総会スキー部創立60周年記念　平成30年7月14日　於　札幌第一ホテル＞

2019（令和1）年7月13日（土）芝浦工業大学校友会スキー部OB会支部　総会・懇親会

熱流体研究会支部

事務局長　吉川 伸也　機械工学専攻　平成11年卒業

熱流体力学研究会支部は、岡本史紀先生の流体力学研究室と角田和巳先生のエネルギー変換工学研究室の600名を超える卒業生で構成される支部で、2017年に設立され今年で5年目を迎えます。

熱流体力学研究会支部では、岡本史紀先生が当時主催していた企業の先端技術を紹介する“熱流体フォーラム”を踏襲して、“先端技術フォーラム”として年に1回開催し、卒業生による会社紹介、技術紹介、製品紹介などしております。卒業生同士の交流だけではなく、ビジネスマッチングの場となる様に色々なイベントを企画しております。また角田研究室の現役学生を支援し、学生と卒業生企業のマッチングや、企業見学の機会なども提供し、人材育成への貢献を目指した活動も行っております。

然しながら最近はコロナ禍の影響もあり思うような活動をすることができませんでしたので、今年は新たな試みとしてリモート参加ができるイベントを企画しております。単にコロナ感染防止対策というだけではなく、今まで上京するのが大変だった遠方にお住いの卒業生にもお手軽に参加して頂けることを期待しております。

ピンチはチャンス、この機会を確りと有効活用して卒業生同士の更なる交流と深め、大学や校友会の更なる発展に少しでも貢献できればと思っております。

平成31年熱流体研究会支部総会

ラグビー部OB会支部

支部長　山田 豊人　電気工　昭和54年卒業

芝浦工業大学ラグビー部OB会支部は、平成30年に承認された新しい支部です。支部総会は卒業生送別試合・懇親会を大宮キャンパスにて同日に開催し、OBと現役の皆さんとのリレーションを深めるという目的で平成31年3月に第1回支部総会を無事開催することが出来ました。（写真1）残念ながら昨年は、新型コロナウィルス感染拡大の影響で中止となりましたが、今年は何とか開催したいとの思いから書面による開催とし、3月中には開催報告書を提出の予定です。

OB会としては以前より活動しており、平成3年にはラグビー部創部20周年記念として多くのOBが家族を帯同し、記念として彫刻家として活躍されている佐藤賢太郎さん（機械Ⅱ S48卒）の作品を贈呈させていただきました。（写真2、3）

大本学長のご臨席を賜り盛大に除幕式を行い、また前日は雨の中、現在の第2グラウンド（当時は小石混じりの土）で泥だらけになりながら学生時代に戻ったような気分でボールを追いかけたことを今でも懐かしく思い出します。

また、今年は大学・OB会の援助により立派なスクラムマシンも導入することが出来たことを併せてご報告いたします。

まだまだ未熟な組織ではありますが、芝浦工業大学、校友会の発展および現役部員のサポートに邁進する所存です。

写真1

写真2

写真3

サッカー部OB会支部

支部長　福井 武和　機械工学科　平成21年卒業
機械工学専攻　平成23年修了

私たちサッカー部 OB 会支部は 2019 年 12 月に発足しました。支部が承認される前の 2014 年から OB 会として活動をしています。メンバーは 20 代を中心として 30 代までです。ほとんどが 20 代の若いメンバーのため、年に 1 度は大宮キャンパスのグラウンドに集まり、現役学生と試合を行っています。このように、現役学生と同じピッチに立ちサッカーができる距離感が、体力的にはギリギリの今の私たち OB 会の強みであると考えています。

また、現役学生とは部活動以外でも積極的に交流を図っています。サッカー部監督による、現役学生の希望就職先に勤める OB との仲介で、直接的な進路相談等も行っています。

今後も現役学生との交流をますます深め、校友会の発展はもとより、芝浦工業大学の発展の一端となれますよう活動していく所存です。

弓道部OB会支部

支部長　森田 和雄　機械工学第二学科　昭和47年卒業

弓道部 OB 会支部は昨年 6 月に校友会支部として参加しました。宜しくお願い申し上げます。

弓道部は 1966 年創部以来 55 周年になります。最初は大宮校舎の野立ち状態の道場で、その後、仮設屋根のみの道場で活動してきました。2009 年頃、弓道場の建設計画が大学側で検討されていると現役学生から報告がありました。早速、念願の弓道場建設のため OB 会で対応策を検討し全国の OB に寄付を募る事としました。そして 200 万円を超える寄付金が寄せられ建設資金の一部として学校に寄付させていただきました。

全国の OB の熱意が伝わり弓道場（館名、無想館）として 2010 年に実現しました。

2015 年 11 月には創部 50 周年記念式典を五十嵐理事長、大丸校友会東京総支部長他多数のご臨席を賜り無想館において盛大に開催しました。

現在は OB1 期生、下郡慎治監督が指導しています。OB 会は春、夏合宿へのコーチ派遣、毎年 11 月に OB 総会、現役との懇親会、毎月の浜松町恩賜公園弓道場の OB 弓道練習会、呑会を行っています。今後一人でも多くの OB に参加してもらい現役支援をして行きたいと思っています。

今後共、弓道部 OB 会支部として校友会及び母校の発展に寄与していく所存です。

川崎市役所支部

支部長　篠田 剛　機械工学科　平成元年卒業

川崎市役所支部は、役所内の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。

現在約 30 名の会員で活動をしております。

毎年、夏に支部総会を開催し、芝浦工業大学と校友会、更に神奈川県支部から来賓をお迎えして、学生時代の話や同窓生との共通の話題で学生時代を思い出すきっかけになっています。近年、20 代～ 30 代が中心となり、職場を超えて交流も増え活気のある懇談会を行っており、お互いの交流を踏まえて、普段、仕事では直接話さない先輩職員との人間関係の構築を含め、仕事へのアドバイスや学生時代の部活・サークル活動にと話が盛り上がります。

また、新会員を歓迎する新年会では、お互いの近況を通して新たな出会いもあり、支部内の結束を強めており、今後も更なる会員の交流と親睦を図っていきたいと考えております。

最後に、芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

鹿芝会支部

支部長　増田 孝弘　建築工学科　昭和63年卒業

鹿芝会は鹿島建設及びグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する校友会職域支部です。会員数は 2021 年 3 月現在で約 140 名となっており、例年 5 名前後の新入社員を新規会員に迎え、役員クラスから新入社員まで幅広い年齢層で活動しています。

主な活動内容は、各種芝浦工業大学校友会活動への参加、年に 1 度の総会、学生へのリクルート支援が大きな行事となっています。2020 年は COVID19 の影響のため例年と同じような活動はできませんでしたが、年に 1 度の支部総会やリクルート支援を Web 開催とする新しい試みにチャレンジした年でもありました。支部総会の Web 開催は遠方の方々も参加できるというメリットがあり、今回の総会は今まで遠方の為参加ができなかった方々にも多く参加していただけました。今後も諸先輩方が大事にされてきた鹿芝会を盛り上げて行きたいと思っております。

最後に、芝浦工業大学のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

鹿芝会総会　Teams 会議にて

住芝会支部

支部長　鈴木 一巳　電気工学科　平成元年卒業

住芝会は平成 14 年 1 月に発足し、今年で 20 年目となる職域支部です。住芝会の活動としては毎年一度、定期支部総会及び懇親会を行なっております。

しかしながら、令和 2 年度の支部総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面形式による審議と致しました。初めての試みにもかかわらず、会員協力のもと無事開催することができました。

また同様に、会員一同が会する数少ない機会である懇親会も残念ながら行うことができませんでした。

ですが、物理的に“密”になれない今だからこそ、情報の共有を“密”にして、会員相互の理解を深めていきたいと思っております。

今年度も 2 名の新入会員が加わりましたので支部、校友会活動共に更に盛り立てていきたいと思います。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

一日も早く今の状況が終息することを願っております。最後になりましたが大学、校友会の皆様に於かれましても、どうぞご自愛下さい。

竹中芝浦会支部

支部長　髙野 直人　建築学科　昭和62年卒業

2020 年度に支部長が安岡千尋さんから髙野直人に交代しました。

当支部は竹中工務店およびグループ会社の芝浦工大卒業生、退社 OB、OG で構成する校友会職域支部です。支部員数は現役世代約 150 名、OB、OG が約 115 名です。

当支部は平成 14 年度設立と歴史が浅く、社内において普段プロジェクトで関わっていたメンバーが実は芝浦工大卒であったと驚く場面が多々あります。

支部活動は、年 1 回総会・新人歓迎を兼ねた懇親会を開催する事、卒業生名簿等でグループ内の風通しを良くしておく事の 2 つを柱としています。

企業内支部の良い点は、長年企業にいて日々凝り固まった硬い頭を若い世代の新しい風が吹き込まれる事により柔らかくほぐす為の良い橋渡しになれる事かと考えています。グローバル化を含めて全体が発展していくという方向性は学・産共通していると思います、芝浦工大ならびに芝浦工大校友会のご健勝を祈念致します。

残念ながら今年度は総会・懇親会は開催できていません

フジタ芝浦会支部

支部長　重冨 正昭　建築学科　昭和61年卒業

フジタ芝浦会支部長を務めさせていただいております昭和 61 年建築学科　卒業の重冨正昭 と申します。

昨年 4 月に 7 名の新入社員を迎え入れ、全国 99 名の支部会員で活動してまいりました。意気揚々とスタートはしたものの、ご承知のとおりコロナ禍の影響もあり、振り返るとほとんど何もできない不完全燃焼の年だったと感じています。

春からは新しい仲間を 1 名加えて総勢 100 名の支部となります。コロナ禍の収束にはもうしばらく時間が掛かりそうですが、今回の経験を活かしニューノーマルでの活動を試みていきたいと考えております。また一年間よろしくお願いいたします。

（掲載の写真はコロナ感染拡大前のものです）

不動産建設芝浦会

支部長　清水 修司　建築学科卒　昭和44年卒業

不動産建設芝浦会は平成 26 年に活動を開始した比較的新しい団体で、建設業や不動産業へご興味のある芝浦工業大学卒業生の方であれば、学科や学部は問わず入会できる団体です。

本会は、卒業生同士の交流を深め、互いのビジネスを活発にしてくことを趣旨とし、幅広い年齢、業種の方にご参加頂いております。これまでも、卒業生同士の交流から様々なビジネスチャンスが生まれています。また、若い方も多く参加しており、積極的に意見し諸先輩方と共にビジネスを進めています。

会場は、芝浦工業大学 芝浦キャンパスはもちろん、ご好意により卒業生の会社でも開催させて頂いています。（飯田グループホールディングス㈱、㈱ニッテイライフ、㈱ SD 建築企画研究所など）

なお、昨今のコロナ渦の影響により、延期またはオンライン開催など臨機応変に対応しております。

開催日時は、毎月第 3 火曜日の 18:30 から、不動産や建設を中心に様々な情報交換を行なっております。

また、他校との連携を深めるべく大学不動産連盟への加盟を目指し、地域会への参加も精力的に行っています。

今後は卒業生を講師に招いた、仕事に役立つセミナーや講演会も予定しいます。

不動産建設芝浦会は、新卒業生の方はもちろん、諸先輩方のご参加を心よりお待ちしています。

第 2 回定期総会・懇親会 於
飯田グループホールディングス㈱ 新社屋

前田芝浦会支部

支部長　黒岩 貴志　土木工学科　昭和60年卒業

前田芝浦会は、前田建設工業株式会社・同関連会社に所属する芝浦卒業生で構成され、2018 年末に支部登録された職域支部です。会員数は、現在 81 名で顧問クラスから新入社員まで幅広い年齢層で構成されています。

2020 年度の活動では、当初は前年度同様の 6 月に芝浦校舎にて支部総会および親睦会を開催予定だったものの、コロナ禍により断念せざるを得ませんでした。しかし、少人数でも何とか開催すべく、11 月 27 日（金）に本店会議室にて参加者 10 名ながら支部総会を開催するに至りました。来年度は是非再び芝浦校舎での開催を希望しますので、1 日も早いコロナの終息を願うばかりです。

2021 年度も 6 名の新入社員を迎える予定です。今後も年代・職種を超えた同窓交流の場としつつ、リクルート活動においても芝浦卒業生のつながりを活かして活動の活性化を図っていく所存です。引き続きよろしくお願い致します。

大学 Web ページのトップニュースで エイプリルフール記事を日本語と英語で発信！

第二ヶ校舎完成イメージ（発表当時）

「豊洲キャンパス第二ヶ校舎」完成
Toyosu Campus was hacked by Giant cats
掲載期間：2021/4/1-2021/4/2

“4 月 1 日、猫も自由に行き来する、
新たなイノベーション創出の場が
完成しました。”

コロナ禍で暗い気持ちになりがちですが、
大学から社会を明るくする、
挑戦的かつユニークな取組みがありました。
学生や卒業生，海外の研究者との話題づくり
にも役立つ記事となりました。

“支部旗”全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 95 周年を迎えます。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合せると全国で 94 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。

平成30年全国総会で揚げた支部旗

支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

校友会「会員名簿」について

校友会では、2017 年 3 月に校友会会員名簿を刊行し販売しております。2016 年 3 月時点での卒業生、約 50,000 名が掲載されております。お仕事や同好活動など会員同士の連絡にお使いください。

●名簿の内容について

この名簿は卒年、学科単位だけではなく、各県別、郵便番号順に編集したものです。このため各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか把握でき、地域での会員の繋がりと利用し易さを目指し編集されたものです。

なお、制作に当たっては個人情報保護法を遵守することは当然ですが、その精神を尊重するとともに、大学とも十分協議し、制作したものであることを付け加えさせていただきます。

●ご購入方法について

芝浦工業大学卒業生に限り、お一人様一冊のみご購入いただけます。氏名、卒年、学科、送付先住所および「名簿購入」と明記の上、代金 5,000 円（送料込）をご送金ください。ご入金確認次第発送いたします。

《御振込先》 郵便局　加入者名　：　芝浦工業大学校友会
　　口座番号　：　00160-5-9575

◀ 5,000 円
（送料込）

芝浦工業大学校歌 CD の販売

「曲目」
1．芝浦工業大学校歌
2．応援歌
3．校歌演奏
　指揮：金　洪才
　独唱：望月哲也
　演奏：新日本フルハーモニー交響楽団
「校歌」
　作詞：北原白秋
　作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】
〒 108-8548
東京都港区芝浦 3-9-14　芝浦工業大学内
TEL：03-5445-9634　FAX：03-5445-9635
e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575

●代金

定価：2,000 円

校友会　常任幹事会　名簿

（役員を除く）　令和３年６月12日　現在
※原則、学部卒業年を表記

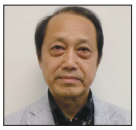
常任幹事
中村　宏
土木工学科　昭和37年

常任幹事
永田　昂生
土木工学科　昭和42年

常任幹事・財務委員会
淺野　昌宏
電子工学科　昭和44年

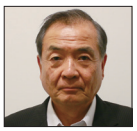
常任幹事
木村　喜有
土木工学科　昭和44年

常任幹事
米澤　稔
建築学科　昭和44年



常任幹事・組織委員会
小野瀬　等
通信工学科　昭和45年

常任幹事・総務・広報委員会
小平　和一朗
電子工学科　昭和45年



常任幹事・例規委員会
谷川　潮
機械工学第二学科　昭和45年

常任幹事・組織委員会
橋本　雅夫
建築学科　昭和45年

常任幹事・事業委員会
植松　恵一
通信工学科　昭和46年

常任幹事・組織委員会
内田　武男
土木工学科　昭和46年

常任幹事・特別委員会
枝広　英俊
建築学科　昭和46年

常任幹事・特別委員会
角野　和明
建築学科　昭和46年

常任幹事・組織委員会
辻村　建
建築学科　昭和46年

常任幹事・組織委員会
前野　和博
工業経営学科　昭和46年

常任幹事・特別委員会
井出　恵尉
工業経営学科　昭和47年

常任幹事
住友　正樹
建築学科　昭和47年

常任幹事・組織委員会
長井　義明
建築学科　昭和47年

常任幹事
増山　栄
建築学科　昭和47年

常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井　和憲
土木工学科　昭和47年

常任幹事・例規委員会
赤坂　邦雄
機械工学科　昭和48年

常任幹事・総務・広報委員会
佐野　茂彰
機械工学科　昭和48年

常任幹事・事業委員会
髙木　光一
機械工学科　昭和48年

常任幹事
柏本　保
建築学科　昭和49年

常任幹事
川本　勝一
建築学科　昭和49年

常任幹事・事業委員会
斎藤　教男
建築学科　昭和49年

常任幹事・
在校生就職支援委員会
神野　兼次
建築工学科　昭和49年

常任幹事・事業委員会
森本　静
工業経営学科　昭和50年

常任幹事・特別委員会
浅見　勝
建築学科　昭和51年

常任幹事
依田　幸秀
金属工学科　昭和51年

常任幹事・組織委員会
犬塚　祥二
建築工学科　昭和54年

常任幹事・組織委員会
関根　良
電気工学科　昭和54年

常任幹事・事業委員会
山田　豊人
電気工学科　昭和54年

常任幹事・事業委員会
田村　稔
建築学科　昭和55年

常任幹事・総務・広報委員会
中根　眞行
工業経営学科　昭和55年

常任幹事・
在校生就職支援委員会
文倉　辰夫
電気工学科　昭和55年

常任幹事・
特別委員会/選挙管理委員会
筋野　豊司
機械工学第二学科　昭和56年

常任幹事・例規委員会
本間　哲哉
電子工学科　昭和56年

常任幹事
平井　良樹
工業経営学科　昭和57年

常任幹事
片倉　隆幸
大学院工学研究科　昭和58年

常任幹事・組織委員会
角田　隆二
土木工学科　昭和59年

常任幹事・組織委員会
本村　雅洋
機械工学科　昭和59年

常任幹事・
特別委員会/選挙管理委員長
佐々木　克則
電気工学科　昭和60年

常任幹事・例規委員会
三好　達朗
機械工学科　昭和60年

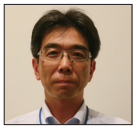
常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
百瀬　和浩
建築工学科　昭和60年

常任幹事・財務委員会
渡辺　通宏
二部機械工学科　昭和60年

常任幹事・特別委員会
山田　サトシ
建築学科　昭和61年

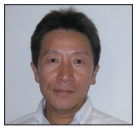
常任幹事・
在校生就職支援委員会
内山　毅
金属工学科　昭和62年

常任幹事・総務・広報委員会
藤田　利行
電気工学科　昭和62年



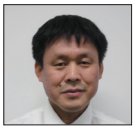
常任幹事・例規委員会
岩本　毅
建築工学科　昭和63年

常任幹事・事業委員会
田中　直彦
通信工学科　昭和63年



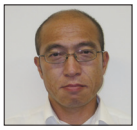
常任幹事・事業委員会
鶴　浩一郎
建築学科　昭和63年

常任幹事・事業委員会
村島　充裕
建築学科　昭和63年

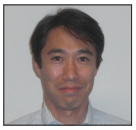


常任幹事・総務・広報委員会
安藤　吉伸
機械工学科　平成1年

常任幹事・財務委員会
進木　正博
機械工学科　平成1年

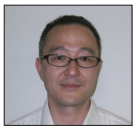


常任幹事・特別委員会
福田　栄寿
機械工学第二学科　平成1年



常任幹事・財務委員会
苅谷　義治
金属工学科　平成2年

常任幹事・事業委員会
小宮山　由起江
土木工学科　平成2年



常任幹事・特別委員会
鈴木　洋
通信工学科　平成2年

常任幹事・例規委員会
齋藤　敦史
通信工学科　平成4年

常任幹事・事業委員会
長谷川　浩志
機械工学第二学科　平成4年

常任幹事・事業委員会
安田　俊司
機械工学第二学科　平成4年

常任幹事・財務委員会
野城　正人
工業経営学科　平成5年

常任幹事・例規委員会
山口　正樹
電子工学科　平成5年

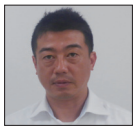
常任幹事・特別委員会
安藤　毅
建築学科　平成7年

常任幹事・事業委員会
市川　拓
機械工学第二学科　平成8年

常任幹事・組織委員会
坂地　世紀
建築学科　平成8年

常任幹事・特別委員会
伊代田　岳史
土木工学科　平成9年

常任幹事・事業委員会
福井　浩二
工業化学科　平成10年



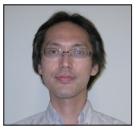
常任幹事・財務委員会
望月　秀晃
土木工学科　平成11年

常任幹事・事業委員会
吉川　伸也
機械工学科　平成11年

常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
中川　雅史
土木工学科　平成12年

常任幹事・事業委員会
野元　明俊
二部電気工学科　平成12年

常任幹事・総務・広報委員会
今井　理裕
材料工学専攻　平成14年



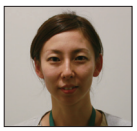
常任幹事・財務委員会
中島　毅
材料工学科　平成14年

常任幹事・事業委員会
奥田　耕一郎
環境システム学科　平成15年

常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
滝下　勇
二部電気設備学科　平成16年

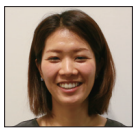
常任幹事・
在校生就職支援委員会
田口　智大
建築工学科　平成16年

常任幹事・総務・広報委員会
髙橋　哲
二部電気設備学科　平成17年

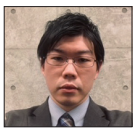


常任幹事・総務・広報委員会
畠山　佳代
環境システム学科　平成17年

常任幹事・財務委員会
西河　洋一
MOT　平成21年



常任幹事・総務・広報委員会
川野　亜希
応用化学科　平成23年



常任幹事・総務・広報委員会
有泉　智貴
生命科学科　平成24年

常任幹事・財務委員会
秋山　力洋
材料工学科　平成27年

常任幹事・特別委員会
増田　純一
材料工学科　平成28年

校友会　相談役・顧問　名簿

令和３年６月12日　現在

相談役
大丸　征史
電子工学科　昭和39年

相談役
金井　昭三
機械工学第二学科　昭和41年

相談役
郡司　卓臣
機械工学科　昭和43年

顧問
岡本　嘉行
建築学科　昭和34年

顧問
滝澤　厚征
建築学科　昭和39年

顧問
田口　継道
建築学科　昭和39年

顧問
今村　均
機械工学科　昭和40年

顧問
岡本　泰明
機械工学科　昭和41年

顧問
雲然　國幸
機械工学第二学科　昭和41年

顧問
吉野　巖
機械工学科　昭和43年

顧問
岩本　行雄
工業化学科　昭和44年

顧問
渡辺　碩
建築学科　昭和45年

顧問
泉澤　定雄
建築学科　昭和46年

校友会　支部及び支部長紹介

令和３年３月17日現在

支部名	支部長	
	氏名	卒年・学科
北海道	米澤　稔	44・建築学科
青森	木村喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤龍一	50・建築工学科
秋田	池田広志	55・建築工学科
宮城	杉崎年英	48・土木工学科
山形	川越　進	46・土木工学科
福島	樋口正人	53・電気工学科
栃木	池田　猛	48・土木工学科
茨城	増山　栄	47・建築学科
群馬	青木豊治	57・機械工学
埼玉	吉池富士夫	51・金属工学科
千葉県	金井昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	谷川　潮	45・機械工学第二学科
多摩	中根眞行	55・工業経営学科
神奈川	長井義明	47・建築学科
新潟	臼井静男	48・土木工学科
長野	北村武彦	45・建築学科
山梨	渡辺一郎	46・建築工学科
富山	福井幸博	H23・地域環境システム専攻
石川	多田哲則	54・建築学科
福井	永井弘明	53・建築学科
岐阜	平井良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木和幸	50・土木工学科
愛知	榊原周造	45・建築工学科
三重	谷水佐久也	50・電子工学科
関西	松岡英治	54・建築学科
鳥取	富本哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本光昭	45・通信工学科
島根	浅野正教	45・建築学科
広島	川本勝一	49・建築学科
山口	福田隆行	50・土木工学科
香川	田岡哲也	57・金属工学科
徳島	佐藤幸好	50・建築工科
愛媛	児山　均	49・機械工学第二学科
高知	依光成元	56・建築工学科
大分	平井寛行	52・通信工学科
福岡	角　敬之	45・工業化学科
宮崎	長池正恕	50・電子工学科
熊本	永田昂生	42・土木工学科
佐賀	山田清人	48・通信工学科
長崎	藤本博文	61・工業化学科
鹿児島	小薗定夫	48・建築工学科
沖縄	仲西　聰	56・土木工学科
韓国	金　範得	19・土木工学科
台湾	陳　祈龍	H5・通信工学科
タイ王国	野本利迪	H2・建築工学科

支部名	支部長	
	氏名	卒年・学科
上海	原　潤	H8・工業化学科
シンガポール支部	長尾　剛	61・建築工学科
MOT同窓会	西河洋一	H21・工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	髙木光一	48・機械工学科
よろく会	小寺貴士	46・通信工学科
緑会	井家良明	35・建築学科
英交会	篠原俊正	54・金属工学科
黒潮会	岡野浩一	58・建築学科
ニ部ワンダーフォーゲル部OB会	伊藤孝夫	51・機械工学科
錬心会	飯島敏春	54・機械工学科
柔道部OB会	早川金光	51・建築学科
ギター部OB会	神野兼次	49・建築工科
芝浦技術士会	鯨井　武	56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前野和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	安保知佳	H27・通信工学科
ハンドボール部OB会	井出恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川　昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田真利	59・工業化学科
スキー部OB会	小川博司	45・工業経営学科
熱流体力学研究会	富山博明	57・機械工学科
ラグビー部OB会	山田豊人	54・電気工学科
サッカー部OB会	福井武和	H23・機械修
弓道部OB会	森田和雄	47 機械工学科第二学科
奥村組芝浦会	坂地世紀	H8・建築学科
神奈川県庁	宮本信也	59・土木工学科
川崎市役所	篠田　剛	H1・機械工学科
関電工芝浦会	井口昌之	62・土木工学科
京三	岩倉哲史	58・通信工学科
熊谷組芝浦会	宮澤　守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳沢純一	62・建築工学科
三芝会	岩本　毅	63・建築工学科
鹿芝会	増田孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	鈴木　暁	H9・建設工学専攻
住芝会	鈴木一巳	H1・電気工学科
大成芝浦会	石久保　猛	H7・建築学科
ダイダン	関口秀行	63・建築工学科
大日本土木	長谷川勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	髙野直人	62・建築学科
戸田建設芝浦会	古越　仁	55・電気工学科
日比谷芝浦会	岡本正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	重冨正昭	61・建築学科
芝友会	中村信夫	43・電気工学科
不動産建設芝浦会	清水修司	44・建築学科
前田芝浦会	黒岩貴志	60・土木工学科

飲み放題

校友倶楽部利用のお願い

皆さんのお越しを
お待ちしております。

利用に関して

・卒業生であることが前提です。
・利用料金　飲み放題付き4000円から　室料は
　ホワイト・ブラック共に一室10，000円
・利用時間　月曜日から金曜日14時～17時
　17時～21時（飲酒を伴う利用は17時以降）
　20時30分オーダーストップ
土曜日は要相談でお願いします。また20名以下の
ご利用はお断りします。日曜日・祝日は定休日
一団体2時間制でお願いします。

空き状況の確認・ご予約はこちらまで。
☎　03－5445－9646
FAX 03－5445－9635
mail：h-onose@shibaura－koyu. jp
芝浦工業大学校友会　校友倶楽部
支配人　小野瀬　等
（通信工学科　昭和45年卒業）

卒業生の皆様へ

公開講座のお知らせ

芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、公開講座を実施しています。卒業生の皆さまも学んでみませんか。

オンラインと対面で開催します。
地方や海外からもぜひご参加ください！

OPEN LECTURE

大人向けの座学や技術士講座がオンラインやキャンパスで学ぶことができます。
理工学を楽しく学べる、子供向け体験講座もあります！

▲未来の建築家、科学者になれるかも？！

▲第一線の芝浦工大の先生が分かりやすくレクャー！

▲教室講座を飛び出して、フィールドワークの様子

▲芝浦工大生が教えてくれる楽しい子供向け講座！

・大学ホームページ、またはQRコードからお申込みください。
https://extension-programs.shibaura-it.ac.jp/

お申込みはこちらから！

・お問合わせ：芝浦工業大学　地域連携・生涯学習センター
TEL：03(5859)7120　E-mail:shougai@ow.shibaura-it.ac.jp

本の宅配貸出サービス

●本学図書館には約 23 万冊の蔵書があり、本学卒業生は卒業後も図書館をご利用いただけます。
コロナ禍の現在（2021 年 2 月時点）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置の一環として、卒業生を含む学外者の入館利用を停止しており、再開の目途が立っておりません。そのため、卒業生の皆様からのご要望により、宅配便による貸出サービス（送料図書館負担）を実施いたします。
お申し込みは、図書館 HP 経由で受け付けます。http://lib.shibaura-it.ac.jp/public/graduate

卒業生への宅配貸出サービス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業生へも
本の宅配貸出を行います。
貸出・返却時の配送料は全て図書館が負担します。

サービス期間
2021年4月1日～2022年3月31日
試験的運用期間：4月1日～6月30日

対象者
卒業生

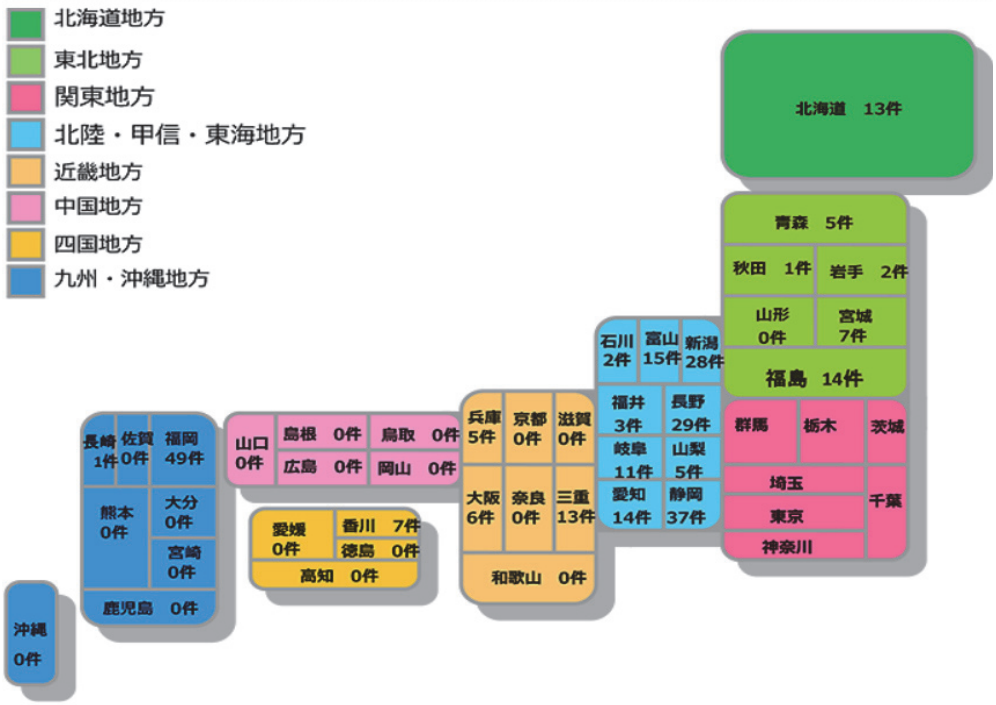
冊数・貸出期間
5冊まで / 3週間　1名1回まで

申し込み方法
図書館HP経由で申し込みを受け付けます。
http://lib.shibaurait.ac.jp/public/graduate

（様式は変更される場合がございます。）

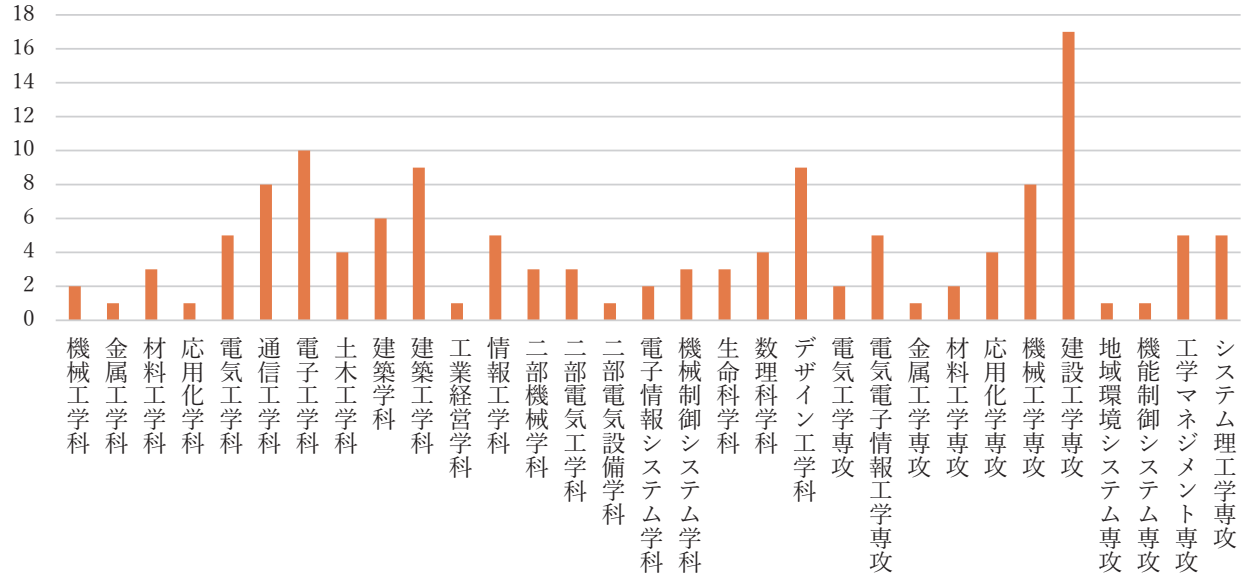
なお、在学生向けには 2020 年 6 月より宅配貸出サービスを行っております。
12 月までに 12,247 冊の本が宅配貸出され、遠隔地の学生からも活発に利用されています。

在学生 遠隔地 道府県別利用状況（2020年6月～ 10月）



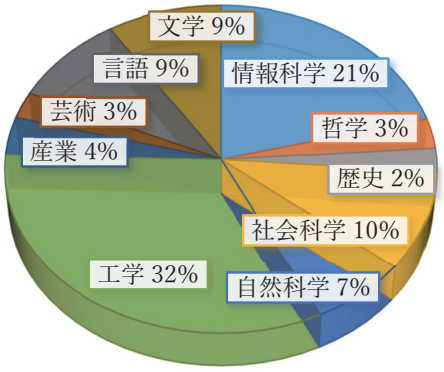
卒業生 本の貸出動向

1．在学時所属（単位：人）〈2019 年度実績〉



2．貸出された本の内容〈2019 年度実績〉

【分類別】



【ランキング】

〈専門書〉

1	新しいシェルプログラミングの教科書
2	28 日で即戦力！サーバ技術者養成講座
3	HTML5/CSS3 モダンコーディング

〈一般書〉

1	こなれた英文 E メールの書き方と表現集
2	IT パスポート過去問題集
3	TOEIC テスト新公式問題集

3．卒業生からの声（図書館利用について）

- 自分の論文が掲載された雑誌（図書）が在校生に閲覧されてほしい。
- 在学時に役に立った本の紹介や、在校生が活用できるよう資料を寄贈したい。
- 書店や他の図書館ではなかなか見つからない本が母校にあって嬉しい。
- 資格取得に向けて毎晩勉強し、無事合格した。
- 他大学の大学院に進学したが、デザインの本は芝浦の図書館が充実していると思う。
- 22 時まで開館しているので会社帰りに利用することができ便利。
- 在校生の貸出制限が 30 冊となっている事に驚いた。年間貸出 1 人あたり約 15 冊という貸出実績にも驚いた。私の在校中と違い、図書館の本が利用されているようで嬉しい。
- せっかく母校の図書館に行くのだから、事前に図書館ホームページより資料の貸出状況が確認できればよりスムーズだと思った。
- 大学はイベント等が多いので、開館時間など図書館ホームページを確認してから来館するようにしたい。
- 卒業しても生涯利用できる大学図書館は、まだまだ日本には少ないので、利用 (学び) を継続できる機会となりうれしい。

日建学院

卒業生の皆様へ

資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常価格より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップに是非お役立て下さい。
受講できる講座は日建学院が提供している講座５種です。これは WEB 講座でインターネットを使用した動画による講義（WEB コース）と通学による講義（通学コース）です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB 講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。（※事前に体験版で動作確認下さい）

□ 提供する講座

	【一般学費（税込）】	【校友会特別学費（税込）】
■ 1 級建築士学科理論 Web 講座（WEB コース）	330,000 円	165,000 円
■ 2 級建築士学科理論 Web 講座（WEB コース）	330,000 円	156,200 円
■ 宅地建物取引士重点 Web 講座（WEB コース）	110,000 円	88,000 円
■ 1 級建築士 学科本科講座（通学コース）	770,000 円	695,200 円
■ 1 級建築施工管理技士一次講座（通学コース）	308,000 円	256,300 円
■ BIM 入門講座（WEB コース）（スキルアップ）	11,000 円	6,600 円

□ 講座内容

●講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
●日建学院ホームページ
https://www.ksknet.co.jp/nikken/index.aspx

□ 申込方法

●校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ　http://www.shibaura-koyu.jp/sk/
●校友会にお申込後4日程度で担当ご希望の日建学院から連絡がいきます。
●代金振り込み後、1週間でパスワードが通知されます。

□ 案内から申込まで

受講者
講座内容の確認・申込み
（校友会ホームページへアクセスして下さい）
↓
芝浦工業大学　校友会
受講希望者情報
（校友会より日建学院へ受講希望者を連絡します）
↓
日建学院
講座案内・手続き
（校友会に申込後、4日程度で担当ご希望の日建学院から連絡がいきます）
↓
受講者
申込・契約
（代金振り込み後、1週間でパスワードを連絡）
↓
日建学院
受講者報告
↓
芝浦工業大学　校友会

■ ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会 事務局
〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
TEL：(03) 5445-9634　FAX：(03) 5445-9635
E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

総合資格学院

卒業生の皆様へ

資格取得講座のご案内

この度、芝浦工業大学校友会では、建設系資格スクールの総合資格学院と提携させていただくことになりました。これにより、校友会を通じて総合資格学院の講座へとお申し込みいただくと、通常受講料が提携割引による特別受講料にて受講できますので是非ご利用ください。

総合資格学院は1級建築士試験合格実績“日本一”の資格スクールです。その優れた実績を挙げ続けている講座では不明点をその場で解消できるライブ講義を展開。合格実績No.1の指導ノウハウで知識を確実に定着させ、本試験で活きる得点力を養成します。「最短で」合格を実現されたい方は積極的な講座利用をご検討ください。

提供講座（一部）

	受験年度		
1級建築士ストレート合格必勝コース	R4	1,320,000円（税込）	1,254,000円（税込）
1級建築士学科合格必勝コース	R4	935,000円（税込）	891,000円（税込）
2級建築士ストレート合格必勝コース	R4	1,012,000円（税込）	968,000円（税込）
2級建築士学科合格必勝コース	R4	638,000円（税込）	594,000円（税込）
構造設計1級建築士合格必勝コース	R3	935,000円（税込）	891,000円（税込）
設備設計1級建築士合格必勝コース	R3	646,800円（税込）	602,800円（税込）
建築設備士ストレート合格必勝コース	R3	605,000円（税込）	572,000円（税込）
宅建パーフェクト合格必勝コース	R3	407,000円（税込）	374,000円（税込）

講座の詳細は校友会HPまたは総合資格学院HPをご確認ください。

申込方法
校友会HP
申込フォームより
http://www.shibaura-koyu.jp/sk/index2.php#form

お問い合わせ
芝浦工業大学校友会 事務局　TEL:03-5445-9634　MAIL:sitfriends@shibaura-koyu.jp
総合資格学院 上野校　TEL:03-3832-7201　MAIL:ueno@shikaku.co.jp

校友会本部事務局紹介

校友会会員の皆様へ

全国の校友会会員の皆様に於かれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
2020 年度は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
校友会事務局のメンバーをご紹介させて頂きます。最初は入局 3 年 5 か月の宮坂文枝さん、面倒見が良い姉さんタイプ、韓国通で、最新情報が豊富です。事務局においては主に各委員会関係の業務を担っています。
次は入局 3 年 3 か月の中瀬古幸子さん、整理整頓が大好きで、毎日 2 リットルの水を飲み、事務局の精神安定剤になっています。事務局での業務は、主に各支部関連の窓口を担当しています。
最後に入局 2 年 10 か月の事務局では最新人依田です。性格は楽観的な AB 型、コーヒー好きですが、減量が必要な腰痛もちです。
2021 年度もこの 3 名で、コロナ禍の中、校友会事務局職員一体となり、校友会会員皆様へのお力になれますように、また校友会の発展のために尽力いたす所存でございます。
校友会事務局は芝浦工業大学芝浦キャンパス 7 階にあります。お近くへお越しの際には、お気軽にお立ち寄り下さい。
どうか今後とも一層のご指導と、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務局　依田　幸秀（S51 年金属卒）
宮坂　文枝
中瀬古幸子

宮坂さん（左）、依田事務局長（中央）、
中瀬古さん（右）

SHIBAURA
ORIGINAL GOODS

● 生協でオリジナルグッズ販売中です！

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。
マグカップやクッキーなども増え、ラインナップも豊富です。
※クッキーの販売は現在休止しております。
　状況を見て再開の予定です（今現在　時期未定）。

湯呑み　713円
マグカップ　820円

クリアフォルダ（大学名入り）　133円
クリアフォルダ（校歌入り）　133円

ボールペン　102円
シャープペン　102円

スカーフ　5,000円
ネクタイ　5,000円
（キーホルダー付き）

クッキー 9枚（箱入り）　700円
クッキー 19枚（缶入り）　1,400円

（※いずれも税込み）

豊洲キャンパス生協、大宮キャンパス生協にて
販売しています。ぜひお買い求めください。
お問い合わせ先：03-5859-7900（豊洲キャンパス）
048-720-6600（大宮キャンパス）

在校生就職支援ご協力のお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を設置し就職支援活動を実施しております。芝浦工大は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っておりません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い申し上げます。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
2、校友会事務局へ提出
3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
5、学生と企業で出願、選考
6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

求人申込書：　http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78
送　付　先：　〒108－8548　東京都港区芝浦3－9－14　芝浦工業大学内
E-mail：　sitfriends@shibaura-koyu.jp
Tel　：　(03) 5445－9634　　Fax　：　(03) 5445－9635

編集者・協力者　一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会　総務・広報委員会

吉池富士夫（昭和51年　金属工学科卒）
林田　和雄（昭和52年　建築学科卒）
小平和一朗（昭和45年　電子工学科卒）
佐野　茂彰（昭和48年　機械工学科卒）
中根　眞行（昭和55年　工業経営学科卒）
百瀬　和浩（昭和60年　建築工学科卒）
藤田　利行（昭和62年　電気工学科卒）
安藤　吉伸（平成1年　機械工学科卒）
中川　雅史（平成12年　土木工学科卒）
今井　理裕（平成14年　材料工学専攻卒）
滝下　勇　（平成16年　二部電気設備学科卒）
髙橋　哲　（平成17年　二部電気設備学科卒）
畠山　佳代（平成17年　環境システム学科卒）
川野　亜希（平成23年　応用化学科卒）
有泉　智貴（平成24年　生命科学科卒）

校友会本部事務局

依田　幸秀（昭和51年　金属工学科卒）　宮坂　文枝　中瀬古幸子

いい仕事には、体温がある。

取締役会長 小川 達生
（昭和51年　通信卒）

株式会社 日新コンピュータシステム

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL　https://www.nisin.co.jp/

PATISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 原田

代表取締役　原田 義人

〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
TEL 0274-40-3331　FAX 0274-40-3341

夢工房　陽だまりの家
株式会社 岡野工務店
代表取締役 岡野浩一（S58建築卒）

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

光・水・空気の総合エンジニアリング
SEAMEC
三宝電機株式会社
Sanpo Electrical And Mechanical Engineering Corporation
http://www.seamec.co.jp

最適環境空間を最新の技術でお届け致します

【本　社】大阪市北区大淀中1-5-1
TEL:06-6451-3311
【東京支店】東京都港区西新橋3-8-3
ﾗﾝﾃﾞｨｯｸ新橋ﾋﾞﾙ5F
TEL:03-5472-3311

地球環境を大切にする
株式会社 日本環境設計

代表取締役社長 加藤 善次郎
（昭和55年機械卒）

〒231-0028
横浜市中区翁町2−9 ファム横浜本社ビル5階
TEL（045）212−2757（代）
FAX（045）212−2758

『西河「技術経営学」入門』に整理し、
芙蓉書房から出版しました。

「技術経営学」は、あらゆる経営者にとって重要な基礎知識であるにも関わらず、学問化が遅れている。「経営学」があっても、「技術経営学」は見当たらない。経営に関する知識がない大学の学生が本書を読めば、経営における技術の役割が理解できることに狙いを置いている。時代を超えることができる知識の集積化であり「技術経営学」の体系化を目指している。
　本書「著者の実学、教授経験が結集した名著」と評価されました。（全365頁）

（定価2,800円＋税）

技術経営人財の育成と活用
一般財団法人
アーネスト育成財団
理事長　西河　洋一
東京都渋谷区
代々木1−57−2　704号
TEL(03)6276-6260
http: //www.eufd.org

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守

Fujinetsu

〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL　03-6429-3600
不二熱学工業株式会社

ERC
地質調査・環境調査
株式会社 アースリサーチ

代表取締役　冨山光行
（昭和45年土木卒）

本　社
336-0037　埼玉県さいたま市桜区田島5-21-13
TEL　048-844-8651　FAX　048-844-8655
URL　http://earth-r.co.jp

東京支店・水戸営業所・南埼玉営業所・川口営業所

確かな技術と信頼の施工

株式会社
豊蔵組
会長　豊蔵　世紀

本社
〒920-0867
石川県金沢市長土塀3丁目13番8号
TEL(076)263-2231(代)
FAX(076)261-0464

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事
中島建工株式会社
代表取締役　中島　道宏
埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20
TEL 048-886-8877
http://www.nakajimakenko.co.jp/

We Find the Way
日本通運
NIPPON EXPRESS

日本通運株式会社　関東甲信越ブロック
ロジスティクスビジネスユニット
移転引越第二営業部　秋葉原事業所
〒114-0013　東京都北区東田端2丁目15番8号
連絡先　03-5901-9022
URL　http://www.nittsu.co.jp

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

まず、パートナーとして。
つぎに、エキスパートとして。
株式会社 建匠
代表取締役　塚越浩之
（S59年　機械工学科卒）
東京都葛飾区西亀有4丁目11番9号
TEL03-5682-7102
https://www.kk-kensho.com

こころで創る 豊かなまち 輝くみらい

株式会社 丸西組
代表取締役会長
西　正次（昭和49年卒業）
〒923-0811 石川県小松市白江町ト121-1
TEL.0761-22-6100　FAX.0761-22-6123

Building Dreams

株式会社 加藤組

代表取締役 齋藤 寛

本　社　横浜市西区みなとみらい2丁目2番1
〒220-8130　横浜ランドマークタワー30階
TEL(045)641-7541　FAX(045)664-5360

四国支店　徳島市川内町竹須賀65
〒771-0141　Do・三木ビル1階
TEL(088)665-5655　FAX(088)665-2008

人、街、社会、地球に優しい空間づくり
総合ビルメンテナンス　清掃業務、設備管理業務、警備業務
マンション管理業務、客室整備業務

株式会社ハリマビステム

代表取締役社長　鴻 義久　（昭和47年 土木工卒）

[本社] 〒220-8116 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー16階
TEL:045(224)3550　FAX:045(224)3551

B-stem http://www.bstem.co.jp
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

緑化事業を通じて 就労支援を行っております

株式会社 アカネ　代表取締役　金 子 和 平
（昭和44年　経営工学科卒）

造園工事部門、メンテナンス・指定管理部門、調査・企画部門、就労支援部門

〒105-0012　東京都港区芝大門一丁目3番15号
TEL:03-5473-9344　FAX:03-5473-9345

https://akane-green.co.jp/

新日本リフォーム株式会社

●大規模修繕工事　●耐震補強設計・補強工事
●給排水・空調設備工事
●個人宅リフォーム工事

〒103-0022　東京都中央区日本橋室町 4-3-13 三建室町ビル 4 階
TEL:03-3241-8814　FAX:03-3270-1538
URL:http://www.sn-reform.co.jp/　担当：渡辺

高速＆低コストのカラープリントで、
学校教育の質を上げる。

RISO プリンターの新領域をひらく

■ フルカラー毎分160枚*1の高速プリント
■ フルカラー 1枚1.44円*2、モノクロ1枚0.50円*2

ORPHIS GD

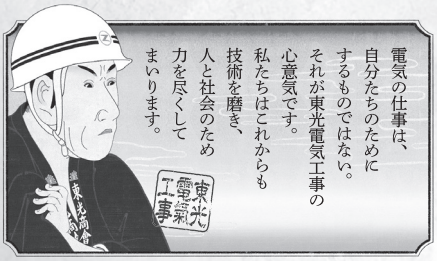
*1:オルフィスGD9630/9631の場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。2017年6月現在発売の枚葉（カット紙）オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。*2:A4普通紙片面、RISOGDインク使用時。カラーは解像度300dpi、測定画像にISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定画像にISO/IEC19752に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙代別。※写真はオルフィスGD9630オプション接続時。

理想科学工業株式会社 理想三田支店
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル18F
TEL. 03-3453-2241　FAX.03-3453-7981　http://www.riso.co.jp/

飯田グループホールディングス

取締役会長　西河 洋一

一建設株式会社　株式会社飯田産業
株式会社東栄住宅　タクトホーム株式会社
株式会社アーネストワン　アイディホーム株式会社
ファーストウッド株式会社　ホームトレードセンター株式会社



人様の役に立てるなんて
うれしいじゃないか。

創業1923年

東光電気工事株式会社

〒101-8350
東京都千代田区西神田一丁目4番5号
TEL:03-3292-2111
www.tokodenko.jp

関東自動車株式会社

埼玉県さいたま市浦和区仲町2-3-19
TEL:048-831-2611
URL:https://www.kanto-m.co.jp

豊かな環境をクリエイトする

総合電気設備工事

扶桑電機株式会社

代表取締役　鬼嶋　一司

本　社　神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-8
〒222-0033　☎045-472-0201(代)
東京支店　東京都渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル
〒151-0071　☎03-3376-1444(代)
http://www.fuso-denki.co.jp

We'll support your Life

釜井建設マネジメント株式会社

代表取締役

釜井　重一

（昭和55年建築学科卒）

〒321-0966　栃木県宇都宮市今泉4-16-23
電話:028-621-0015
携帯:090-4371-8891
E-Mail:shigekazu_kamai@yahoo.co.jp

未来の
自分のために

芝浦工業大学校友会

×

日建学院

芝浦工業大学校友会様 提携講座の詳細は…
http://www.shibaura-koyu.jp/sk

建築資料研究社　日建学院

HOTEL East 21 TOKYO

オークラ ホテルズ & リゾーツ
ホテル イースト21東京
東京都江東区東陽 6-3-3
TEL.03-5683-5683（代表）

高砂熱学

代表取締役社長COO 小島和人

〒160－0022
東京都新宿区6－27－30
電話　03－6369－8212

電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい

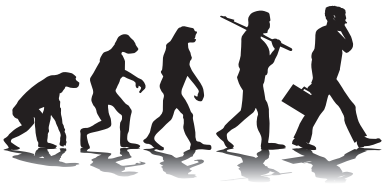
お客様の多様なご要望に対し
何事にも安全・迅速にお応えできる技術集団です

IZUMIコミュニケーションサービス株式会社

代表取締役　大橋　晃（昭和56年　通信工学科卒）

〒144-0052　東京都大田区蒲田一丁目7番10号IZUMIビル
TEL:　03-5714-0692　　FAX :　03-5714-0696
URL　　http://www.y-jet.co.jp

変わり続けるDNA



HEXEL Works Inc.

東京都港区芝大門 1-1-30 / TEL:03-3459-3366 / URL:https://www.hexel.co.jp/

電気設備の設計から施工まで
創業大正12年（1923年）

三興電気株式会社

代表取締役　鬼澤　淳

東京都中央区銀座7-13-5

電話　03-3547-5980

業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業

株式会社 ぬ利彦

代表取締役　九代目 中澤彦七

東京都中央区京橋２丁目９番２号
電話（3535）5311（代表）

㈱宮建築設計

代表取締役　宮　本　　博

昭和 47 年卒　建築学科
（校友会　徳島県支部顧問）

本　　社：徳島市福島 1-5-6　　TEL:088-625-5505
東京本店：東京都中央区八丁堀 2-28-10　TEL:03-6280-3305
http://www.miyasekkei.com
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com

たとえば、テニスやバドミントン。
シングルスはもちろんですが、
ダブルスも魅力的だと思いませんか。
緻密な戦略を立てながら、
互いを助け合う。
コンビネーションが勝利のカギになります。

ダブルスのように、
ヒトとロボットが手を組んだ新しい取り組みが
建設業でも始まっています。
「鹿島スマート生産」。
ヒトとロボットによる、
スマートな生産プロセスが実現していきます。

ヒトとロボットがつくる、新しい建設業へ。

100年をつくる会社
鹿島

鹿島建設株式会社　代表取締役社長　押味至一
鹿島建設株式会社横浜支店　副社長執行役員支店長　野村高男

「冷間鍛造技術日本一」

Maruyoshi
丸嘉工業株式会社

経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業 採択企業

代表取締役社長　土田　雄一郎

住所：岐阜県各務原市金属団地68番地
TEL：058-382-7171

丸嘉工業

SIT SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
学校法人芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック

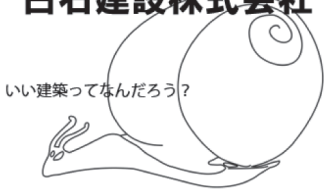
代表取締役　中本　仁

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします
技術人材募集・登録受付中

エスアイテック　検索

TEL：03-5859-7930（金澤・澤中）
URL：http://www.sitech-jp.com

Quality gives priority to all
白石建設株式会社



〒166-8540
東京都杉並区高円寺南4-15-11
TEL:03-3314-1101(代表)

http://www.shiraishi-ken.co.jp

UCHIDA
内田洋行

高等教育事業部
〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
TEL　03(5634)6292
FAX　03(5634)6865

BADGE & MEDAL FACTORY
NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.
since 1918

有限会社 中島徽章
代表取締役　中島博行
（昭和60年　金属科卒）
〒111-0036　東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207　Fax 03-3845-5005
http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/

ジャパンプロテクショングループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします

警備業を軸に環境事業・人材派遣・調査の
トータルマネジメントサービスを提供する
ジャパンプロテクション株式会社
102-0004　東京都千代田区二番町5-7　JP本社ビル
03-3265-6861（代）　http://www.jp-group.jp

優しさと潤いと安らぎを人と環境に
コンクリートブロックの総合メーカー
株式会社よねざわ工業

〒061-1405　北海道恵庭市戸磯596番地6
TEL 0123-32-2221（代）
FAX 0123-33-1191
ホームページもぜひご覧ください。
http://www.yonezawa-k.co.jp

造園設計施工・緑化土木事業
株式会社 豊橋園芸ガーデン
http://www.garden-g.com/

代表取締役会長　榊原　周造
（1970年卒　建築工学科）

■豊橋本社　〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64 TEL：0532-45-6679
■東京オフィス　〒114-0014 東京都北区田端3-5-8 アミーデ・クール501 TEL：03-5834-8786
■名古屋事業所　〒454-0059 名古屋市中川区福川町3-1-22 TEL：052-369-2060
■知多事業所　〒470-2203 知多郡阿久比町板山西ノ海道山16-4 TEL：0569-47-1220

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー
AGB 旭ビルウォール株式会社
URL.http://www.agb.co.jp

特別顧問
鈴見　健夫（S45 建築）

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル８階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

取締役会長　小貫　論
（1975　工化卒　　1977　修士修了）

群馬セラミックス株式会社
〒375-0055
群馬県藤岡市白石1444
Tel　0274-22-2096　Fax 0274-24-4974
https://www.guncera.co.jp

TACY
世界初の多能式自動券売機を開発
（日本機械学会　機械遺産「第50号」認定）
交通システム機器のパイオニア
株式会社 高見沢サイバネティックス
代表取締役社長　高見澤　和夫

〒164-0011 東京都中野区中央２丁目４８番５号
TEL　03-3227-3361
URL　https://www.tacy.co.jp

山形の手造りの地酒

朝日川酒造株式会社
山形県西村山郡河北町谷地乙９３

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL　https://www.lixil.co.jp/

コトブキシーティング株式会社
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2-1
https://www.kotobuki-seating.co.jp

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU

事業内容：
自動車、輸送用機械器具、原動機の製品およびその製品ならびに関連する資材、用品の製造・販売

住所：〒140-8722
東京都品川区南大井6-26-1ベルポートA館

竹中工務店グループ
TAKENAKA

建物を育て 未来へつなぐ

アサヒファシリティズ

建物維持管理事業／不動産事業／保険代理事業

本　社：〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号
TEL.(03)5683-1181

営業拠点：札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡

消防用設備施工保守管理

赤城工業株式会社

東京都板橋区氷川町43−4

TEL 03(3963)3711(代表)

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。

株式会社イトーキ
東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング　https://www.itoki.jp/

私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。

あしたを、つなぐ
野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
新宿野村ビル8階
教育施設事業一部　TEL03(3345)0672
http://www.nomura-pt.co.jp

三井住友建設
https://www.smcon.co.jp

はしも、
まちも、
ひとも。

橋をわたり、街をあるき、大切な人とすごす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。

なくてはならない企業、トビシマ。

防災のトビシマ　New Business Contractor

トビシマは、高度な防災・減災技術を進化させ、
安全で安心な都市と環境のために
みなさまと共に明日を描き続けます。

飛島建設
本社／〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
TEL.03-6455-8300　http://www.tobishima.co.jp

NitteiLife
株式会社ニッテイライフ

不動産建設 芝浦会
代表取締役　佐藤 隆之
(H2 工業経営 卒)

本　社　〒160-0022　東京都新宿区新宿 6-28-7 新宿イーストコート3階　TEL.03-4589-6911　FAX.03-4589-6312
目黒支店　〒153-0064　東京都目黒区下目黒1丁目1－14コノトラビル4階　TEL.03-6420-0081　FAX.03-6420-0085
高円寺支店　〒166-0003　東京都杉並区高円寺南 4-26-16 芦野ビル3階　TEL.03-6383-1771　FAX.03-6383-1882

axona AICHI
ー集いと学び空間をデザインするー
愛知株式会社東京本部
〒104-0033
東京都中央区新川1-17-25東茅場町有楽ビル1F
TEL:03-6222-0816　FAX:03-3555-0016
URL:http//www.axona-aichi.com

MIZUHO
みずほ銀行

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

人と空気と水の環境創造。

https://skk.jp/
三建設備工業

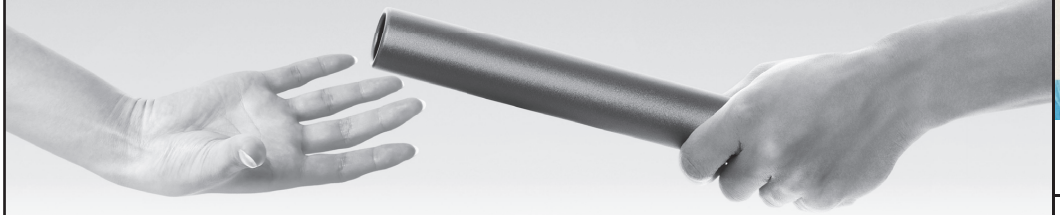
ここちよい、をその先へ。

人に、社会に、地球に、ここちよい。
そんな新しい時代の「ここちよさ」を
技術革新や社会構造の変化を捉え追求する、
一歩先の未来の快適環境を創造できるグループを
わたしたちはめざします。

東テク
東テク株式会社
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 3-11-11
TEL:03-6632-7000(代表)
URL:http://www.totech.co.jp

SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGs（Sustainable Development Goals）とは
2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。

持続可能な地球環境		安心して暮らせる社会		活力のある経済活動	
関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組
	・再生可能エネルギーの普及支援 ・自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング		・健康づくりの支援 ・先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応		・次世代モビリティ社会への対応（自動運転車等） ・災害に強いまちづくりの支援

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会※をめざします。
※外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会

絆を大切にする
経営コンサルタント

代表 CEO
吉池 富士夫 YOSHI-IKE Fujio

株式会社吉池事務所 Office YOSHI-IKE Corp.
Mobile: 090-1995-6684
E-mail: yoshiikef1@gmail.com

- TOMORROW CREATE CONSULTING -

校友会副会長　埼玉支部長
昭和 51 年金属工学科卒

Kinden
きんでん
東京支社

常務執行役員　支社長
榎本　謙司

芝浦工業大学卒業生の6割以上が総合資格学院で合格を勝ち取っています！

令和2年度 1級建築士 設計製図試験
芝浦工業大学 卒業生 合格者占有率 61.3%
卒業生合格者119名中、当学院当年度受講生73名

※卒業学校別合格者数は、試験実施機関である（公財）建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込まれた方も含まれている可能性があります。<令和2年12月25日現在>

1級建築士試験 全国/東京都 合格者占有率 No.1

総合資格学院は全国も東京都も「日本一」の合格実績！

令和2年度 1級建築士 学科・設計製図試験
東京都 ストレート 合格者占有率 63.8%
東京都ストレート合格者475名中／当学院当年度受講生303名
（令和2年12月25日現在）

令和2年度 1級建築士 設計製図試験
全国 合格者占有率 53.8%
全国合格者3,796名中／当学院当年度受講生2,041名
（令和2年12月25日現在）

令和2年度 2級建築士 設計製図試験
当学院基準達成 当年度受講生 合格率 82.6%
当学院基準達成者以外の合格率50.7%
その差 31.9%
8割出席・8割宿題提出・模試2ランク上達成当年度受講生841名中／合格者695名
（令和2年12月10日現在）

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。　※全国合格者数・都道府県ストレート合格者数は、（公財）建築技術教育普及センター発表に基づきます。　※学科・製図ストレート合格者とは、令和2年度1級建築士学科試験に合格し、令和2年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。　※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

法人サポートサービス
企業の将来を担う、若手技術者の育成にご協力いたします。
- 育成オリジナルプラン作成
- 各種合格ガイダンス
- 新卒採用支援
- 模擬試験・社内講習会 他

学校・学生サポートサービス
総合資格学院は全国の建設系学生を応援しています。
- 学生向け建設情報誌の発刊
- 建設業界就職セミナーの実施
- 建設系イベント・大学・研究室支援
- 新卒就活サイト【総合資格navi】

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

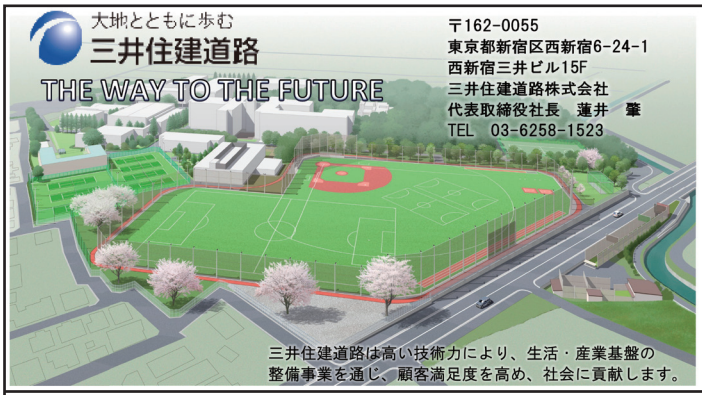
1級・2級 建築士 / 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 / 建築設備士 / 1級・2級 建築施工管理技士 / 1級・2級 土木施工管理技士 / 1級・2級 管工事施工管理技士 / 1級 造園施工管理技士 / 宅地建物取引士 / インテリアコーディネーター / 賃貸不動産経営管理士

芝浦工業大学校友会を通じて講座へとお申込みいただくと特別価格にてご案内いたします

総合資格学院
全国約100拠点
スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211
上野校 TEL.03-3832-7201
御茶ノ水校 TEL.03-5244-5615
五反田校 TEL.03-6408-9711
吉祥寺校 TEL.0422-23-6011
立川校 TEL.042-524-7841
北千住校 TEL.03-5284-3911
町田校 TEL.042-724-3061
お問い合わせはお気軽に!

おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。
総合資格学院 学院長 辛 隆司



快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する

住友電設株式会社

取締役社長　坂崎　全男

http://www.sem.co.jp/

KIMURA
あおもりの未来へ、エールをおくろう。
総合建設業
株式会社 木村建設
代表取締役　木村喜有
（昭和４４年土木工学科卒）
〒030-0902
青森県青森市合浦二丁目19番21号
TEL：017-741-5244
FAX：017-741-5230
URL：http://www.kimken.co.jp/

HR HAYASHI-REPIC
永い歴史と経験に培われた技術力で
皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります
ハヤシレピック株式会社　旧林時計工業(株)
本社　〒170-0004　東京都豊島区北大塚1丁目28番3号
TEL：03－3918－5237　URL: http://www.h-repic.co.jp
第1事業部　ルミナーエース(光源)，LED照明，電動ドライバー
第2事業部　ペルチェ式電子クーラー，デジタル温度調節器
第3事業部　半導体組立，厚膜印刷
第4事業部　同軸コネクター，ケーブル，スイッチ，センサー，チェンバー
第5事業部　パーツフィーダー，省力化装置，プレス部品，各種組立作業
連絡先：安田俊司　平成4年機械二科卒　s-yasuda@h-repic.co.jp
校友会相談役 金井昭三　昭和41年機械二科卒　sho-kanai@sky.plala.or.jp

建築とまちづくり
株式会社　アルセッド建築研究所
代表取締役 所　長　三井所　清　典
代表取締役 副所長　大　倉　靖　彦
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号
電話 03-3409-4532　FAX 03-3409-3394
http://www.alsed.co.jp

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税、贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般
朱田税務会計事務所
税理士　朱田光洋
（芝浦工業大学理事・評議員）
税理士　坂本幸久
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目22番2号
ES林ビル5階
TEL 03-5839-2115　FAX 5839-2116

人を想い、場を創る。
okamura
http://www.okamura.co.jp/
株式会社オカムラ　首都圏支社 日本橋支店
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー 11 階
TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419

㈱藤工務店
代表取締役　田中起基　（S62建築）
建築・土木・大工・弐土工事業
〒870－0916　大分県大分市高松東3－1－18
TEL:097－558－6836　FAX:097－558－1692
E-mail：fujico@fat.coara.or.jp
URL：http://fujikoumuten-oita.co.jp

H02　工化卒
伊藤博之
「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊

予約用アドレス tartarwine@gmail.com
営業時間 PM 6:00～AM 2:00（土日祝 PM 3:00～）
東京都中央区銀座8-12-1セイコー銀座ビル2F　TEL.03-5565-9898
ワイン・料理テイクアウト承ります
ワインの通信販売、全国発送可能

株式会社
TAW建築設計事務所
代表取締役　渡辺　碩
昭和45年建築学科卒
〒111-0042
東京都台東区寿3-3-2
TEL:03-3841-7368　FAX:03-3841-7107
E-mail：taw@mvd.biglobe.ne.jp

■施工中写真

撮影日：2021 年 3 月 11 日

撮影日：2021 年 3 月 22 日

校歌

山田耕筰　作曲
北原白秋　作詞

一、朝日に輝く　風と潮
雄大　空あり　雲は移る
仰げよ校旗の　翩翻たるを
白亜の殿堂　ここに聳え
われらが工学　英気鍾む
芝浦　芝浦　われらが母校

二、世紀に脈うつ　熱と理性
剛健　矩あり　常に鍛ふ
行へほがらに　溌剌たれや
師弟の純情　一に依りて
磨くにこの技　神に通ず
芝浦　芝浦　われらが母校

三、永遠に栄ゆく　意思と秩序
誠実　ただあり　道は徹る
夢むな空理の　漠々たるを
精微をきはめて　事に即かば
工学日本　大を成さん
芝浦　芝浦　われらが母校

旧校歌

須川政太郎　作曲
有元　史朗　作詞

一、巨鯨潮吹き鵬の舞う　大えいの水洋洋乎
旭陽うけて天そそる　不二の高嶺に雪白く
関東の野に麦萌ゆと　雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく　墨水流れ鷗浮く
都の枢要地を占むる　工の業の学び校の
林は繁しいや栄え　やがて花咲き実を結ぶ

三、科学の世界工業の　進歩やまこと駸々乎
先人夢に見しところ　今や現実に現ぜられ
今人夢に見るところ　明日将に実現す

四、曲学阿世時得とも　夕を待たで凋み散る
槿花一朝の栄えあり　真理に立てる学にして
まことの学の権威あり　学の独立守らでや

五、世界文化に貢献し　人類の平和招くべく
太古バビロンに夢むてふ　バベルの塔を築くこそ
学徒の荷う務めなれ　我等の懐く望みなれ

六、キイツはいいぬ美しき　ものこそ永遠のかんきなれ
趣味実用を兼ね備う　美の殿堂を築くべき
使命は重しわが肩に　望みは高しわが胸に

第一応援歌

●荒波浴びる
荒波浴びる芝浦に
そびゆる工大わが母校
伝統ここに五十年
文化の渦潮導きて
静穏精進に敵はなし
おお芝浦エンジニア

第二応援歌

一、雄図秘めし若人の
胸高鳴るや　いかにせん
芝浦健児　ここにあり
正々堂々　たたかわん
最後に取るは　勝利なり
芝浦　芝浦　芝浦

二、錬磨の日々ぞ　涙あり
聞けよ王者の　おたけびを
芝浦健児　ここにあり
正々堂々　たたかわん
必ずとるは　勝利なり
芝浦　芝浦　芝浦

芝浦工業大学 校友会

校友会ホームページはこちら
http://www.shibaura-koyu.jp/